

「今治市末廣山窯跡」採集陶磁片報告

・社会福祉法人 来島会 ドローイング工房クラフトマン
・稲垣正宏

1、はじめに

「末廣山窯跡」(註1)は今治市湊町地先の私有地内に所在する近世窯跡である。当該窯跡で採集された資料 595 点(細片も含む)については所有者の許可を得て整理調査を実施した。

「手作業」(遺物の洗浄、分類、登録、抽出、実測)は、平成 26 年 10 月 30 日から平成 27 年 2 月 20 日までのほぼ 4 カ月間、「デジタル作業」(デジタルトレース、デジタル合成、レイアウト)は平成 27 年 3 月初めから 5 月 31 日までの 2 カ月間実施した。その後、「原稿執筆」に着手し、平成 28 年 2 月末日に脱稿した。(洗浄)以外の「手作業」「原稿執筆」は稲垣正宏が、「洗浄およびデジタル作業」は社会福祉法人 来島会 ドローイング工房クラフトマンが行った。

2、遺物各説

遺物の内訳は、「窯道具」231 点、「製品」320 点、「瓦・窯壁片」が僅かで、「製品」はさらに「陶器」273 点「磁器」47 点に分かれる。窯道具の分類については、大橋康二氏の分類案(註2)と渡辺芳郎氏の分類案(註3)を参考にさせていただいた。また、当該窯跡の窯道具が、京焼の陶工「欽古堂亀祐」により天保元年(1830)に刊行された「陶磁指南」に図示された窯道具(第 2 図 以下「指南」と略)との共通点が多いので参考にしながら記述を進めたい。

図版に掲載した写真・実測図の縮尺は 1/3 である。

(1) 窯道具概説 図版 1～16 表 1 末廣山焼出土窯道具一覧

①ツク 図版 1-1,2, 5, 6, 10, 11 図版 2-7, 8, 12, 16～18 ※文中では 1-1 と略

小片を含めて 13 点が出土している。上下平坦部の口径は 11.0～12.0 cmが多く、完形品(1-1)の全長は 34.4 cmである。1-2 には 体部に製品の染付が熔着している。「天秤積み」(註4)の窯詰めを実施する際のツクは、①蛸足ハマを据える柱 ②上端面に直接製品を載せる台の 2 種の用途がある。2-18 は上端面に蛸足ハマが熔着しているので前者、1-5 は上端面にアルミナ状の泥(註5)が塗布された上、高台の痕もあるので後者の用途で用いられている。大半ツクは上端面に高台痕がなく、前者の用途で用いられたと考えられる。

1-2,5,17 は破断部中央に接合線があり、1-1,2,17 は表面に継目が残る。1-5,6 は体部に布目を残していることから、大半のツクは、①「竹を半裁して作った型」に布を敷き、土を詰めて型取りし「半円柱」を作成し ②取り外した「半円柱」を合わせて「円柱」にする ③上下端は少し竹からはみ出すようにしておき、竹から取出してから、押し広げて台形台状にする、という工程でつくられたようで、布目のないものは、調整時に表面をナデ消したからだと思われる。

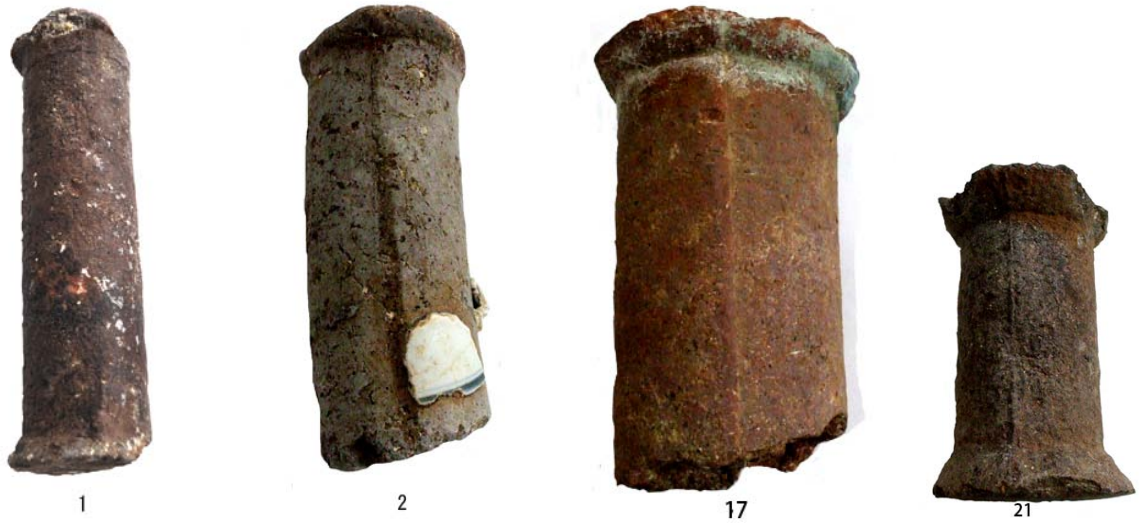
当該窯出土の「ツク」は上から下まで太さが同じ「円柱」状で、「指南」で「大ヌケ」と呼称される部中位がやや膨らむ「エンタシス」状の「ツク」は形状は確認されていない。「大ヌケ」と同型の「ツク」は県内近世窯に出土例があり、「エンタシス」状と「円柱」状が混在する窯もある。

②トチン 図版 3-9, 20～23, 28, 31

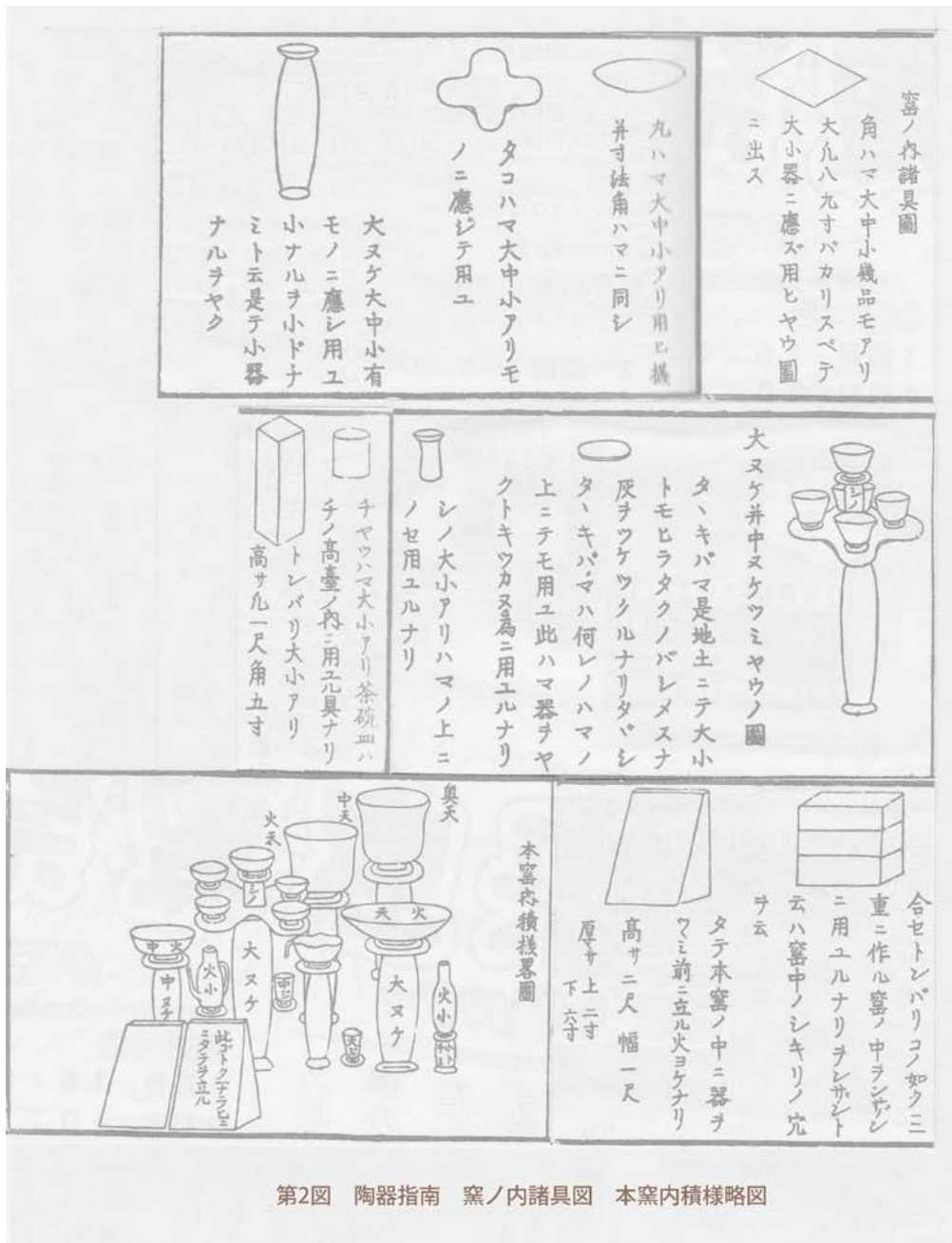
トチンは、焼成時に製品を載せる台として用いられる窯道具で、当該窯では「柱部がツクと同様の円柱状のもの」(3-20-1,21,23)と「エンタシス状のもの」(3-9,20,22)、「小型で体部中央が膨らむ中太トチン」(3-28,31)の 3 種が採集されている。

「エンタシス状」のトチンは、まず円柱を作り、その上下端にハマを逆位にして接着させて、成形するので、底部外面にに(ハマ作成時の)糸切痕が残っているものもある。

「ハマ」「トチン」に見られる「円柱タイプ」は型取りが済んだ円柱の上下端を手で広げて成形する。製作時間も手間も少なく合理的な作業法で、型取りの際、布を使うところは、瓦生産と共通している。



第1図 継目のあるツク(1,2,17) トチン(21)



第2図 陶器指南 窯ノ内諸具圖 本窯内積様略圖

③ナンキン 図版 4-24~42

「ナンキン」も焼成時、「トチン」より小型の製品が載せられる台」として用いられる。「指南」では「シノ」と呼称されている。

高さは11.3~3.5 cmで、形状は「成形後に脚部内面を内割りされるもの」(4-24~26、29、33)「体部が中空のもの」(4-30、32、34、36)「中実のもの」(4-35、37~42)の3種がある。

4-32、37、38、40は底部に4-34は上部に糸切痕がある。

「指南」中の「本窯内積様略図」では「蛸足ハマ」の上に「ナンキン」が載せられた状態が描かれている。当該窯では、窯床に直接置かれることもあったようで、(4-39、41、42)は下部に砂が多く付着している。

ナンキンは小型ものの大半(30,33~36,38~42)が製品と同じ「精製された陶土」で作られている。

④足付ハマ 図版 5-46~62 図版 6-63~73、91

口径が最大の物は10.2 cm、最小のものは同5.1 cmで、足数も5個、4個、3個に分かれる。中央に孔をあけるものが多く、大抵のものは上下面に成型時の糸切痕を残す。

上面には高台痕が残るものが大半で、アルミナ状の泥を塗るものも多い。採集された「磁器の碗・皿類片」は細片が多く、「足付ハマと製品が熔着したもの」や、「磁器底部内面に足先の窪みを残すもの」など、「足付ハマ」を使って重焼きをした痕跡を示すものは極端に少ない。

⑤ハマ 図版 6-43 44 74~82

「ハマ」は、製品の下敷きとして用いられた窯道具で、口径が14.0、14.4 cmの大型のものと7.6~5.0 cmの小型のものがある。何れも底部中央が碁笥底状に窪む。大型のものは底部外面をヘラ削り調整され丁寧に作られているが、数は非常に少ない。小型のものは上部にアルミナ状の泥が塗られ、高台痕が残る。

「足付ハマ」は「指南」に記載がないが「ハマ」は記載がある。「指南」中の「本窯内積様略図」から床に直接置かれるものがあることが分かる(註6)。当該窯採集品では(6-76)のみ底部に砂が付着しており同例と思われる。

⑥蛸足ハマ 図版 7-83 84 89 図版 8-87 88 90 図版 9-4 85 86

足は4本、5本、6本の3種があり、4本のものの最大長(足先から反対の足先までの長さ)は、最短で22.2 cm、最長で27.0 cmのものがあるが、それほど大きな差は感じず、大小に二群に分かれるほどでもない。

上下面または下面に布目を残すが、下面の足の尾根部分は、調整時の削りにより布目がない。下面中央にはツクを繋ぐ際に接合面積を増やして、接合力を高めるために、小さな窪みが作られる。

「ツク」との接合は直に繋げる場合(2-18)、ワドチを挟む場合(8-90)がある。上下中央部にツクの痕、上部足先にハマの痕がつくものが多い。成形は「型に布を敷き粘土を入れてかたどる」という「ツク」と共通の技法が用いられる。

⑦大型焼台 図版 3-13 10~3 14 15 19

大型焼台は口径が22.0~24.0 cmもある厚手で大きな焼台で、信楽の近世窯(註7)などでは床上に置いてその上に匣鉢を積み重ねていく台にしている。素地からの長石の吹き出しが多く、上面にはアルミナ状の泥を塗っている。10-14は脚部上方に孔を横方向に穿っている。

⑧焼台 図版 10-28-1 92~95 図版 11-96~107 図版 12-108~120 図版 13-121~135 図版 14-136~151 図版 15-152~163

焼台は、上部の円盤の筒状の下部が接合する形状で、口径23.0 cm、高さが6.5 cmの大きなものから、口径12.0 cm、高さ3.45 cmの小さなものまで、小片も含めて120点が確認されている。

胎土は「粗いもの」「石を僅かに含むもの」と「製品と同じ緻密なもの」がある。円盤上部には成型時の糸切痕が残るものと削り取るものがあり、また、上面に高台痕を残すものも多い。接地部に重ね焼きの際に付いたとみられる「播目」が残るものが9点(口径が15.1 cm~9.0 cm)ある。この播目は播鉢を重ね焼きする時に転写されたものである。



第3図 焼台についた播目



第4図 甕の底に熔着した焼台

⑨花卉状焼台 図版 15-164~167 図版 16-168~177

花卉状焼台は、焼台の下部を花卉状に4~5カ所切り取るもので、切取幅の小さなもの(15-165、16-169,174,175)と大きなもの(上記以外)がある。円盤上部に糸切痕を残すものと削り取るものがあり、口径が7.4、7.0 cmの小型品(16-177,178)もあるが、ミニチュア播鉢か特別な用途をもった製品の重ね焼きに使われたのかもしれない。

播鉢に花卉状焼台の痕が付いている物(17-2,3)がある。焼台に比べて製品に接する面積が少なく剥がす易いので、多用されたと思いたい実数は少ない。

胎土は「粗いもの」「石を僅かに含むもの」と「製品と同じ粘土を用いた緻密なもの(小型品 16-177,178)」がある。

(2) 製品概説 図版 17~25 表1 末廣山焼出土窯道具一覧

I 陶器

①播鉢 図版 17-1~3,38,39

播鉢は10点確認されているが、その内実測したものは5点である。17-1は、見込みに底径10.0 cmの焼台の痕が残る。播目は(0.8 cm×4本=1単位)、底部の胎土は小石が多いが、口縁部の態度は精良である。断面の観察から、円盤状の底部に口縁部を継ぎ足して成形したことが分かる。底部外面にはアルミナ状の泥が塗られる。

2は花卉状焼台の下端部の痕跡が見込みに1カ所残る。播目は(0.11 cm×7本=1単位)で高台がある。3は花卉状焼台の下端部の痕跡が見込みに5カ所の残っていることから、底径8.0 cmで5角形の焼台が置かれたことが分かる。

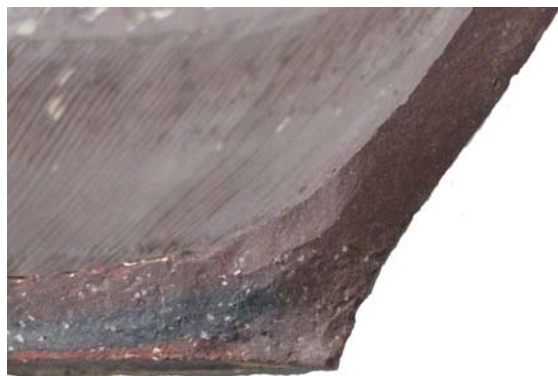
38,39は口縁部のみで、端部外面の装飾は38が3段、39は2段である。

②鉢 図版 19-15~22,21-83

鉢は破片も含めて12点確認されていて、その内11点を実測した。対象は底部片(20-15~18、小片)と口縁部片(20-19~22,22-83)に分かれる。底部片には削りだしの高台が付く、15の内面に高台か焼台の痕があるので重焼きされていることが分かる。口縁部片は端部が外側に肥厚するが断面の形状には違いがある。以上は何れも焼が甘く、柔らかい。83は小型鉢の口縁で端部に水平の面を持つ。

③甕 図版 17-4,5,8,18-6,7,12~14,23~26,30~32,19-33~37,21-75

甕は破片も含めて41点確認されていて、内21点を実測した。内訳は体部から底部まで残存するもの(17-4)、体部のみのもの(18-14)、頸部(18-30 19-29)、底部片(17-5,8,18-6,7,23~26)と口縁部片(18-12,13,31,32,19-33~37)である。



第5図 17-1の断面



第6図 17-8の断面

(17-8)は、播鉢と同様円盤状の底部に口縁部を継ぎ足して成形している。

また、実際に焼台が熔着しているもの(21-75)と内面に焼台の痕跡を残すものがある。口縁部は、端部に平坦面を残すものと外面に肥厚する物が多く内傾するものは1点(19-36)だけである。体部外面には、櫛描文や沈線を巡らしている。

④徳利 図版 20-40~68 21-69~72

徳利は体部中央が窪み、そこに布袋等の張物を付ける「布袋徳利」と体部の上部に櫛描文を施す「筋徳利」の2種にわかれる。総数は小片まで含めて68点である。

「布袋徳利」に張物が付いた状態のものはなかったが、20-40には、粘土を使って張り付けたらしい痕が残っていた。

⑤少数生産品・高級品 図版21-74 76～90

今回の調査対象は物原の一部採集資料であるので、往時には生産されていた器種でも、今回の資料群には含まれていない可能性が高いことを踏まえて、表題の実例を紹介したい。

火鉢(21-74)は外面に蔓草状の貼付け凸帯があり、口縁端部は波状になる。水指の蓋(21-77)、風炉(21-78)、平茶碗(21-76)の3点は茶の湯に関わる道具。小皿(21-82)皿(21-84)は食器、土瓶・土鍋類(21-85～87)は調理具で、21-88-1は、白土により細い線が描かれる「イッチン」の技法が施される。足付燈明台(21-79)、燈明台(21-80)、燈明皿(22-134)、不明脚部(21-90、恐らく燈明台と思われる)、佛飯器(21-81)などもある。

II 磁器

末廣山窯採集品には磁器片も含まれていることから、同窯は陶磁兼業窯であったことが確認された。磁器片は、小片が多く大きさを復元できる例が少ない。

①磁器製品 図版 23-91～134 24-104～137 25-138～140

・碗類

白磁碗(22-91～93,96,102,115)と染付碗(22-96,95,97,98,102,106,107～114)に分けられる、また、焼が甘く釉薬もよく熔けていない遺物(22-91～98,102,107)と焼成が良好で釉もよく熔けている遺物(22-106,108～115)がある。碗の大半は丸碗であるが、筒碗(102,107)も僅かに含まれる。小片のため文様の判別は難しいが、水車文(108)、草花文(107,112)、羊歯文(117)が認められる。

・皿類

実測可能な遺物の中で白磁(稜花皿)は 22-100,122 点で、残り 12 点は染付である。皿は何れも小片のため正確な法量は推定できないが、大皿(22-17～21)、皿(22-101,22-123～127)に分けられる。また、口縁が稜花になるもの(22-117,118,128)がある。

・蓋

蓋は、1点(133)確認されている。

・香炉

実測可能なものと破片合わせて4点(白磁3、染付1)が出土している。

・磁器破片

磁器小片(図版 23,22)についても極小片以外はすべて掲載した。染付の文様では、「水車文」(23 図)13点「浦の苦屋文」(24 図 網干・帆掛船)5点が目につき、窯跡出土品に特徴的な歪みがあるものが多い、製品や窯道具・砂と熔着した遺物(図版 23・24)も多く確認されている。

3、おわりに

(1)末廣山窯跡の調査

末廣焼窯跡は過去3回の現地調査が実施され、報告があるので以下概要を記したい。

①西条史談会の秋山英一氏の報告(註8)

昭和23(1949)年7月25日、窯跡推定地を訪れたが、窯跡確認できず、備前焼系統の陶片を数個修得した。

②日本陶磁協会今治支部長高橋城皓氏の報告(註9)

昭和28(1953)年8月11日、窯跡の一部を発見し、その周辺で窯道具(馬のつめ=ツク、ハマ、トチン等)、製品(土もの徳利鉢、皿数点)を採集し、同年8月17日、数人の応援を得て、窯跡の一部を発掘し、(製品)破片七・八十点、窯道具数種、窯壁とおぼしきものきもの数個を得ている。

高橋氏は当該窯が海岸線に平行し、北西に登る「窯長七間の登窯」と判断し、窯の略図を載せている。

出土製品としては陶器(焼締・施釉徳利、鉢、甕、皿、片口)と磁器(小皿、中皿、大皿、鉢、猪口)があり、染付で銘が記される磁器(「末広山」銘1片、「四角内に今」銘「今」銘5片)出土しているが、出土品は全て土地所有者に返却したようである。

報告には出土遺物写真が刑されている。内訳は陶器(甕、イッチンが施された土瓶片、徳利の口、播鉢)、磁器(染付鉢・碗)、窯道具(足が6本・4本の蛸足ハマ、ツク、ナンキン、足付ハマ)などで、これらの器種はいずれも本編報告資料に含まれるが、イッチン(註10)が施された土瓶片は、本編資料では小片2点(88-1,2)しか確認されておらず、昭和28年の調査では同例の出土が意外に多かったことが分かる。

③愛媛県立東予工業高校吉田忠明氏の報告(註11)

昭和51(1976)年5月に東予工業高校の生徒の協力を得て窯周辺を数カ所発掘したが、出てくるのは支柱やハ

マなどの窯道具が多く肝心の陶片はほとんど出土しなかったとある。吉田氏は出土品の写真を報告に掲載しているが、そのほとんどが高橋城皓氏の報告の中で紹介されている器種ばかりである。

また、土地所有者の話として窯は大正時代建物を建てる時、遺構はすべて撤去されたことを聞いている。

(2)文献資料に記された末廣山窯

福山市鞆で生産された「保命酒」の容器として慶応元年(1865)を焼成するために築かれた「梅谷皿山」の関連資料『扇浦皿山筆記』(註12)一慶応二丙寅年正月二十三日の条一に「梅谷皿山」の陶工「楨助」が「豫州今治へ行き同所の陶工多市と倅善作に面会した」との記述があり、また、同時期の「梅谷皿山」関連資料には「伊豫今治皿山」から「引野皿山」(福山市内)に来た陶工2名の名前が記載されている。

上記の窯は「末廣山窯」のことと思われるが、市内で確認された近世・近代窯跡が末廣山窯1基だけなので、断定はできない。

(3)作成技法のこと

ツクは「円筒形」トチンは「円筒形」と「エンタシス形」の二つの形態が確認されたが、現在、調査を進めている県内近世・近代窯跡の出土遺物をでも両方が存在し、一窯跡で両者が出土する例もある。両者の違いが地域的なものか時代的なものかは不明である。

搦鉢の重焼きは、焼台を用いる場合と花卉状焼台を用いる場合があることが確認された。花卉状焼台を用いる方が痕跡も少なく、離脱も容易であると思われるが、使い分けの理由はまだ分からない。

搦鉢、甕類の作成時に砂を多く含む円盤を据え、そこから砂粒をほとんど含まない粘土紐を巻上げて上部を作成する技法が見られるが、性質の違う胎土をあえて接着させて成形する利点がどこにあったのかについても検討が必要である。

(4)窯の稼働年代

当該窯の係る文献資料が少なく、年代判定の決め手となる「染付磁器」の点数も少ないため、自信を持って年代判定することは難しいが、石岡ひとみ氏の砥部焼の年代観(註13)、当該陶片を実見した同氏の意見(註14)から幕末～明治初めの時期が推定される。

註

- 1 末廣山窯の起源については、吉田忠明氏の著書『愛媛の焼き物』平成七年七月 財団法人 愛媛文華館 で詳しく紹介されている。
- 2 大橋康二 「わが国の窯業における生産技術の展開」『窯構造・窯道具からみた窯業—関西窯場の技術的系譜をさぐる— 研究集会資料 関西陶磁史研究会 2005年1月8日・9日
- 3 渡辺芳郎 「窯跡資料からわかること—近世薩摩焼の焼成技術—」『やきものづくりの考古学—鹿児島県の縄文土器から薩摩焼まで—2011年10月31日 鹿児島大学総合研究博物館
- 4 近世肥前磁器の窯詰法で、窯の中に「ツク」に「蛸足ハマ」を何段も重ねて設置し、「蛸足ハマ」の足先に製品を載せる。後に全国に普及した。第2図参照
- 5 酸化アルミニウムの中で陶石よりも融点が高い、重焼きの際、離れやすくするために接触面に塗る。工業用のアルミナと違い不純物を含む。
- 6 第2図参照
- 7 『窯構造・窯道具からみた窯業—関西窯場の技術的系譜をさぐる— 研究集会資料 関西陶磁史研究会 2005年 1月8日・9日
- 8 秋山英一「西条丸山焼について」『東洋史談 第四十三号』 昭和二十三年十一月
- 9 高橋城皓「末廣山窯の発見」—その中間報告— 『陶説12 3月号』昭和二十九年三月一日
- 10 長石の多い釉薬を細い筒の先から出して、陶器に字や絵をしるす技法
- 11 前掲註1と同じ
- 12 後藤雅知「近世福山藩領における保命酒生産と鞆町の社会(第11回国際日本学シンポジウム:セッションI 日本近世港町の社会・文化構造)『お茶の水大学 比較日本学教育研究センター研究年報 2010-03-31
- 13 石岡ひとみ「近世砥部焼磁器碗に関する基礎的研究—上原窯跡採集資料を中心として—」『研究紀要 第13号』愛媛県立文化博物館 2008
- 14 石岡ひとみ「近世後期伊予のやきもの 砥部焼・西岡焼・末廣山焼」『平成24年度 今治史談 合併号NO.19』今治市教育委員会 今治史談会 2013

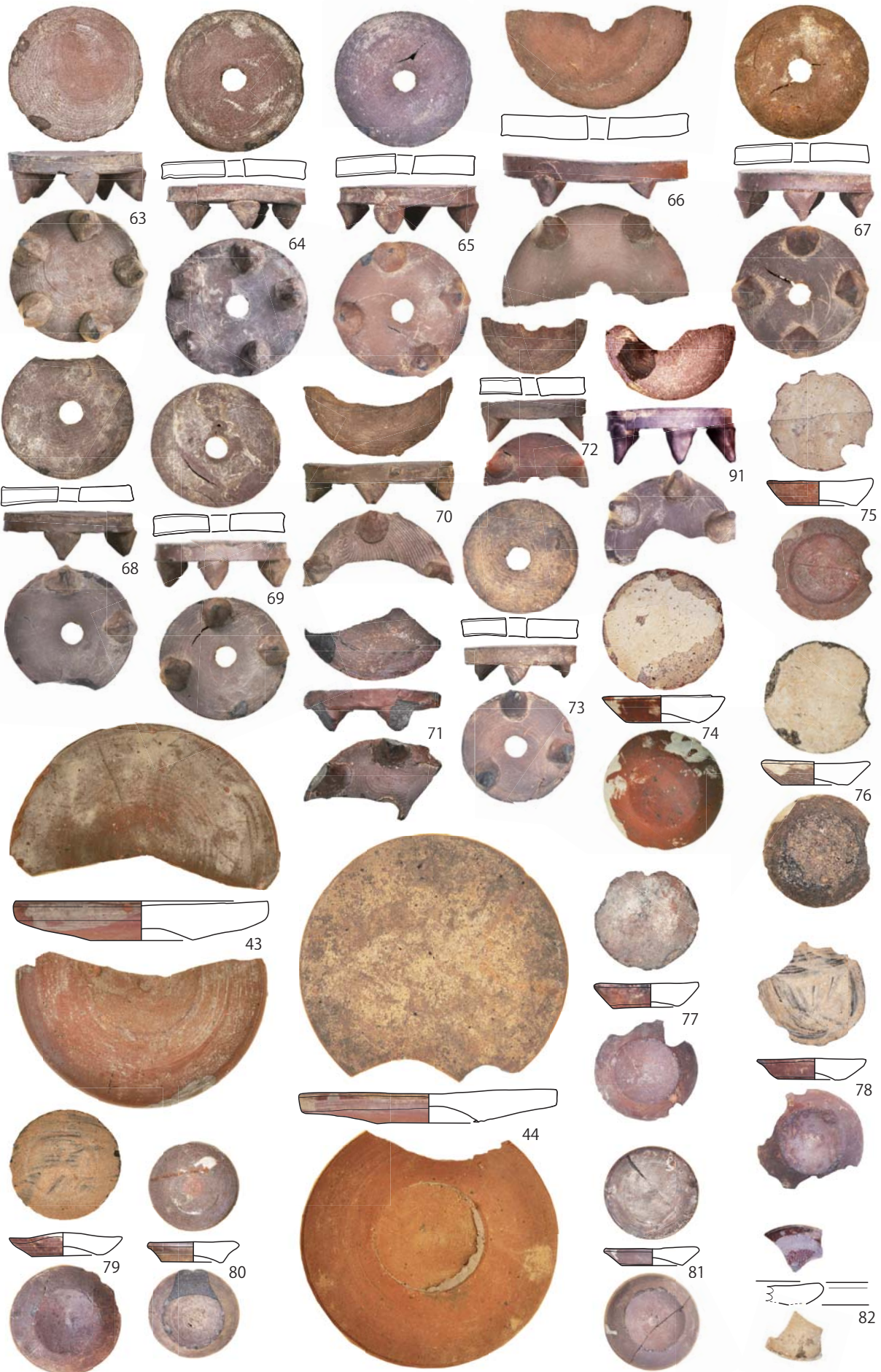


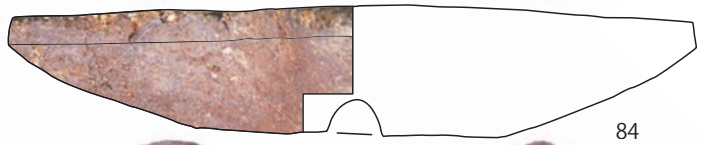
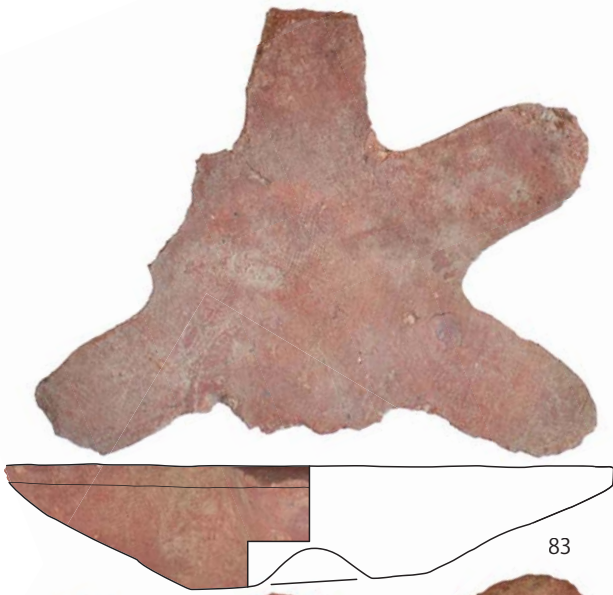


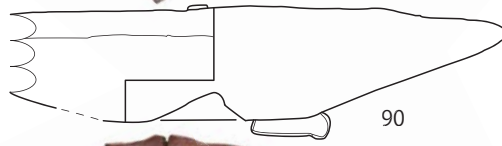
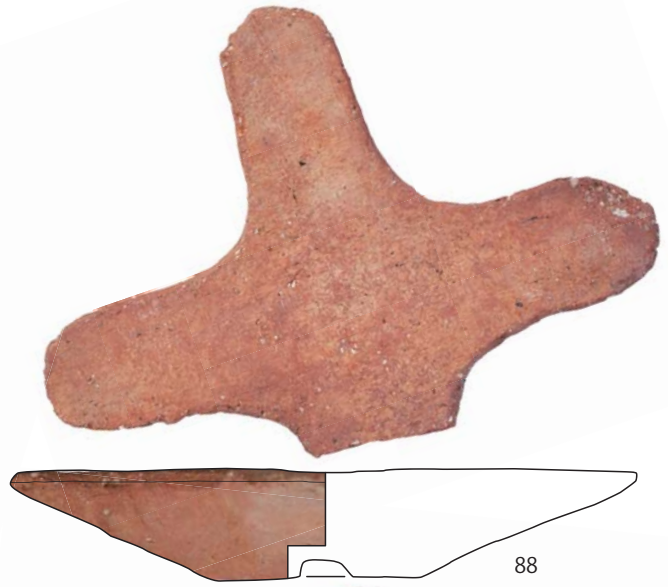


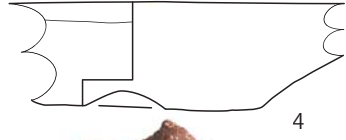




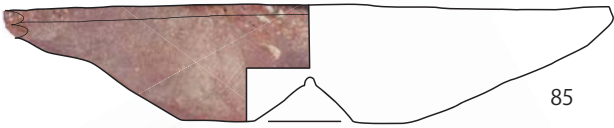




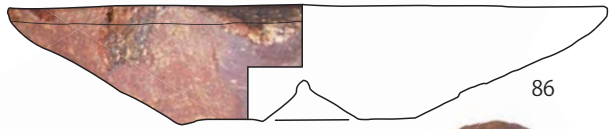




4

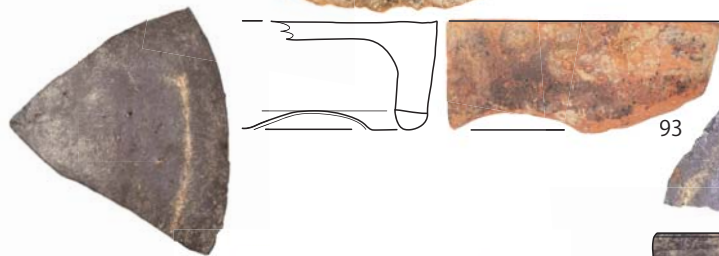
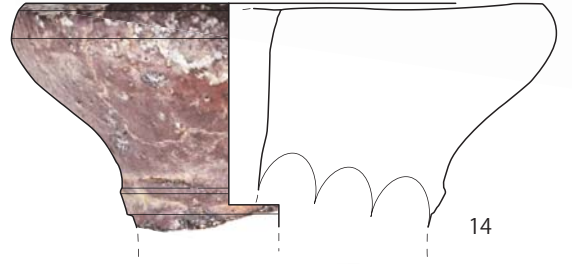
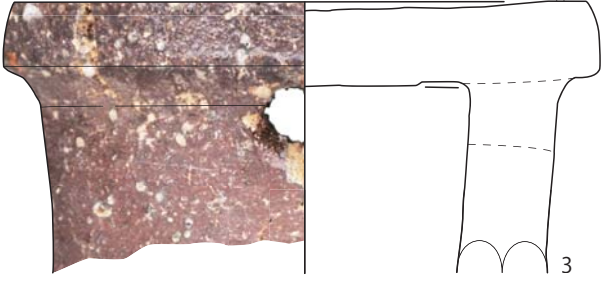


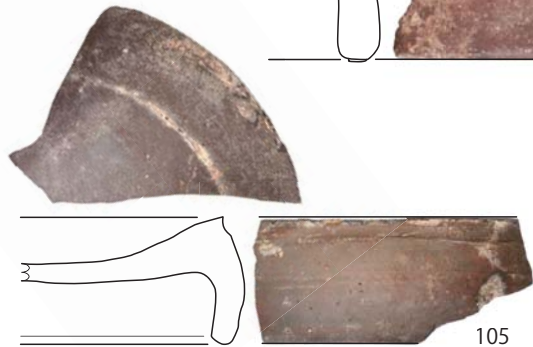
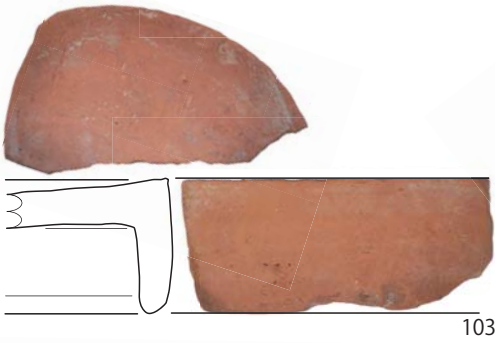
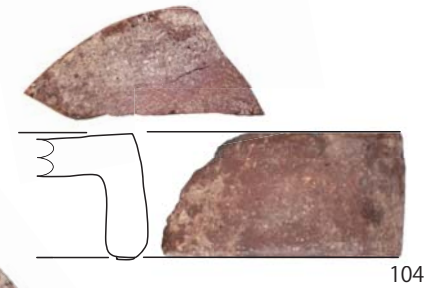
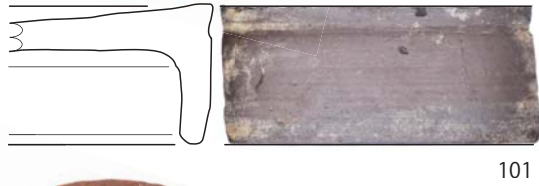
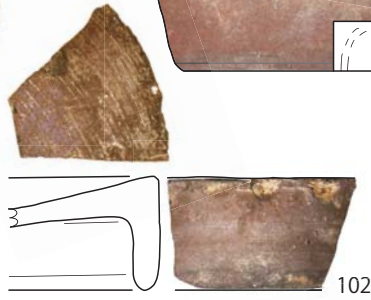
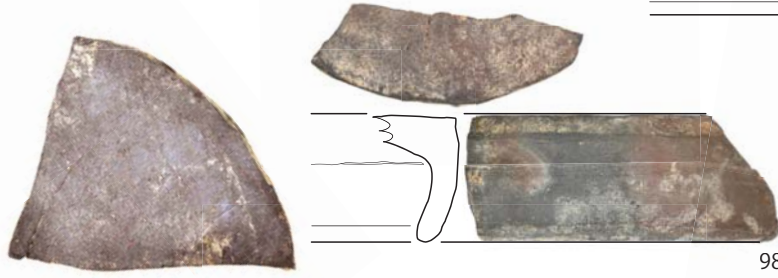
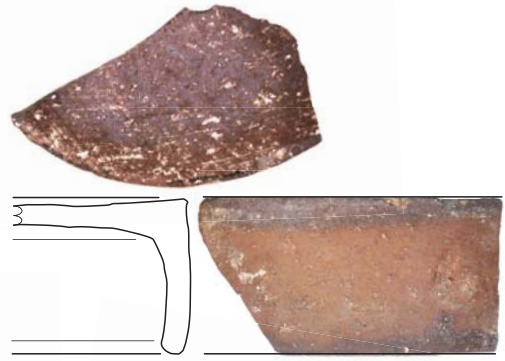
85

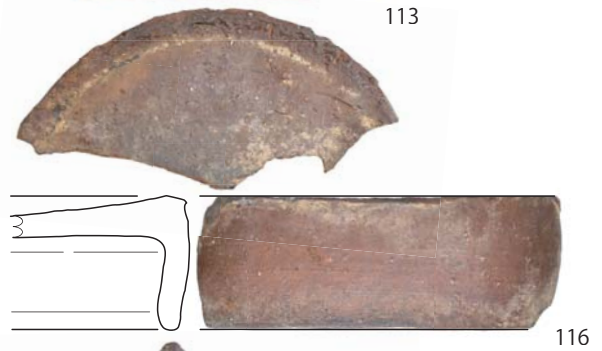
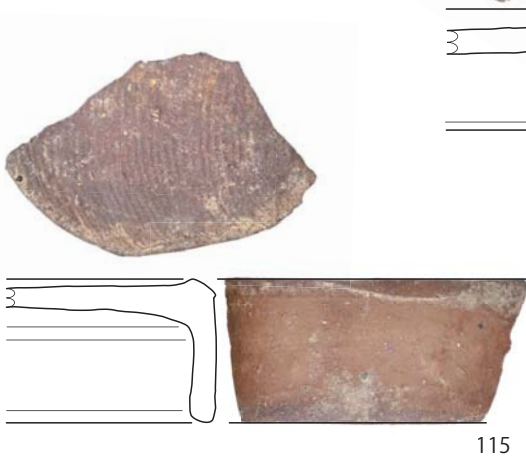
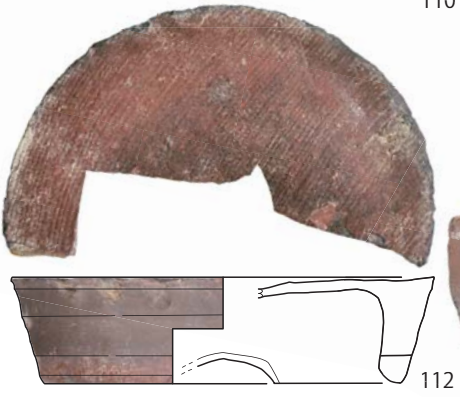
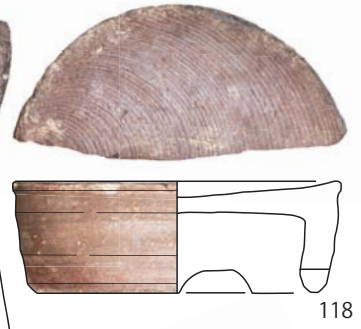
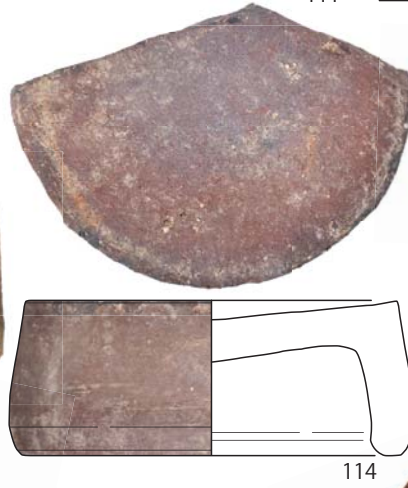
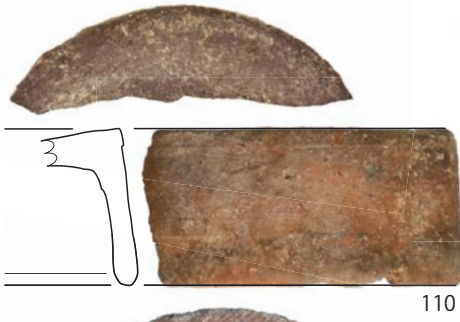
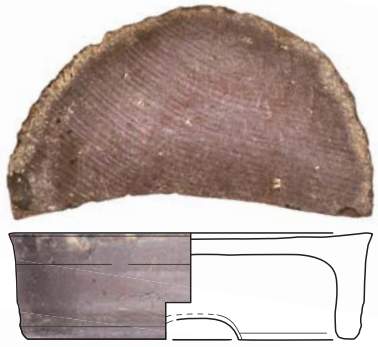


86



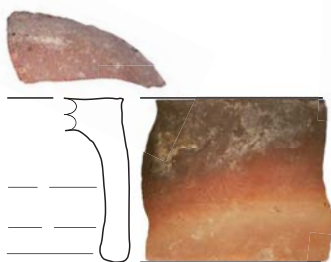




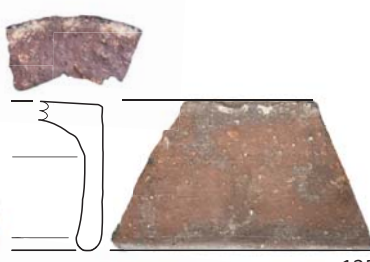




121



122



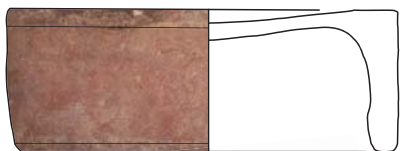
125



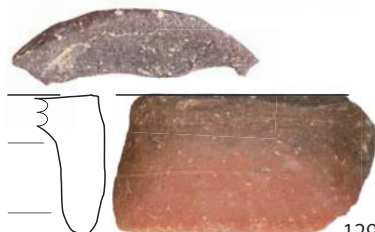
126



124



123



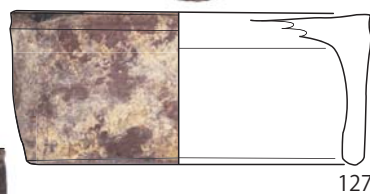
129



128



130



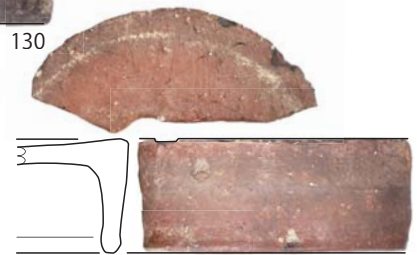
127



132



131



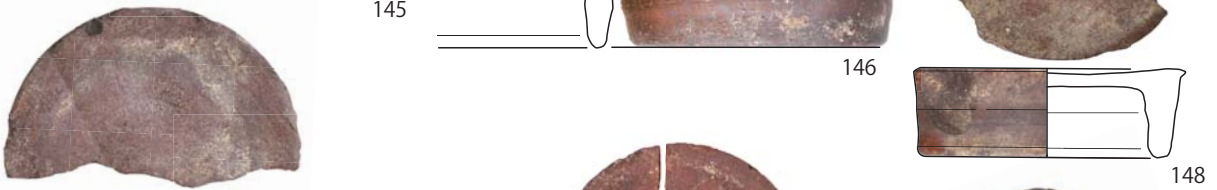
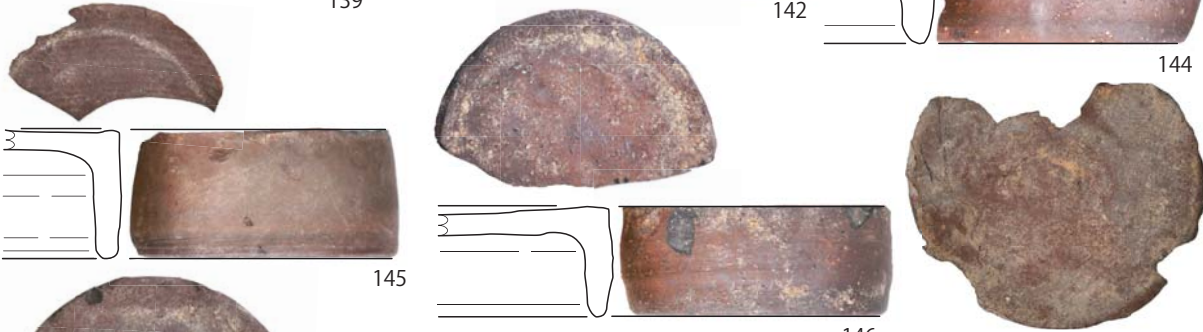
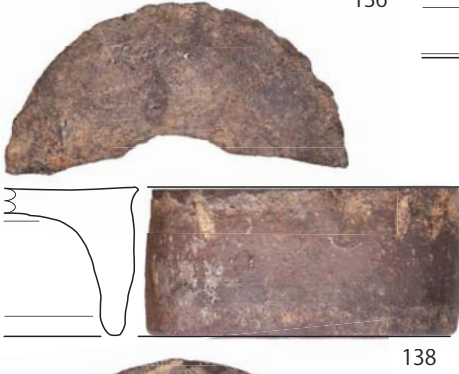
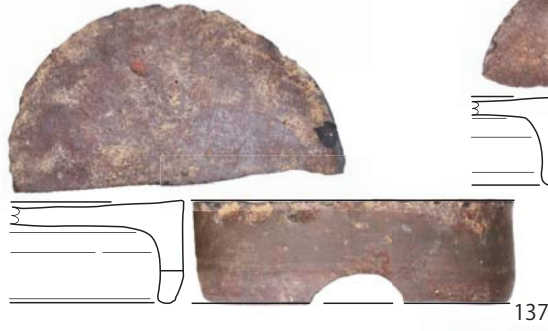
133

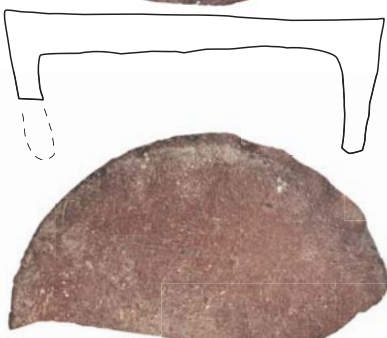
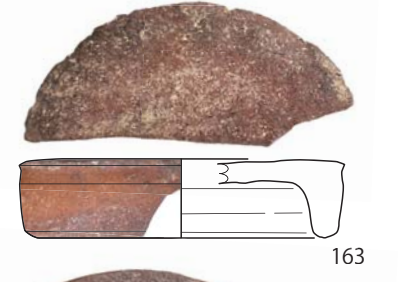
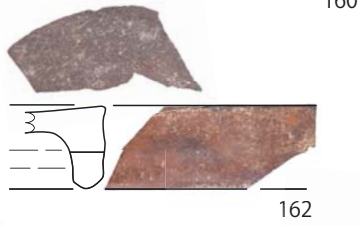
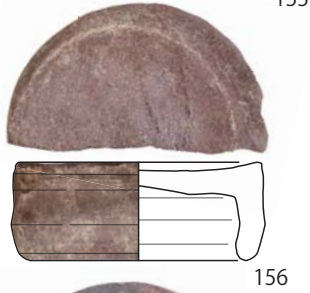
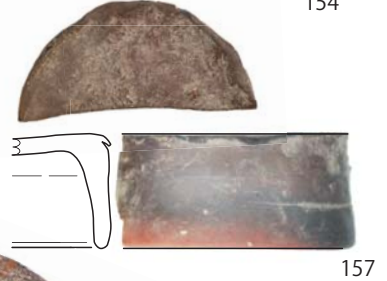
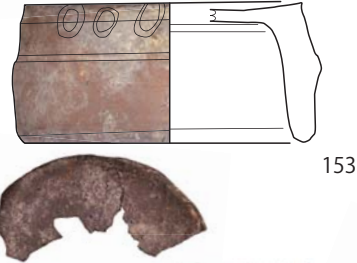
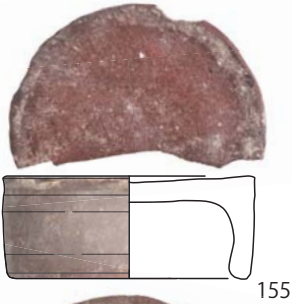
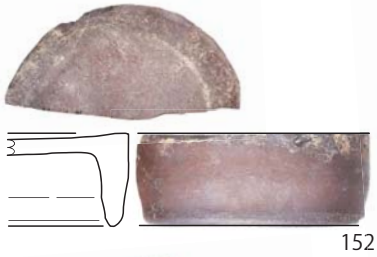


134



135







168



170



169



171



172



174



173



176



175

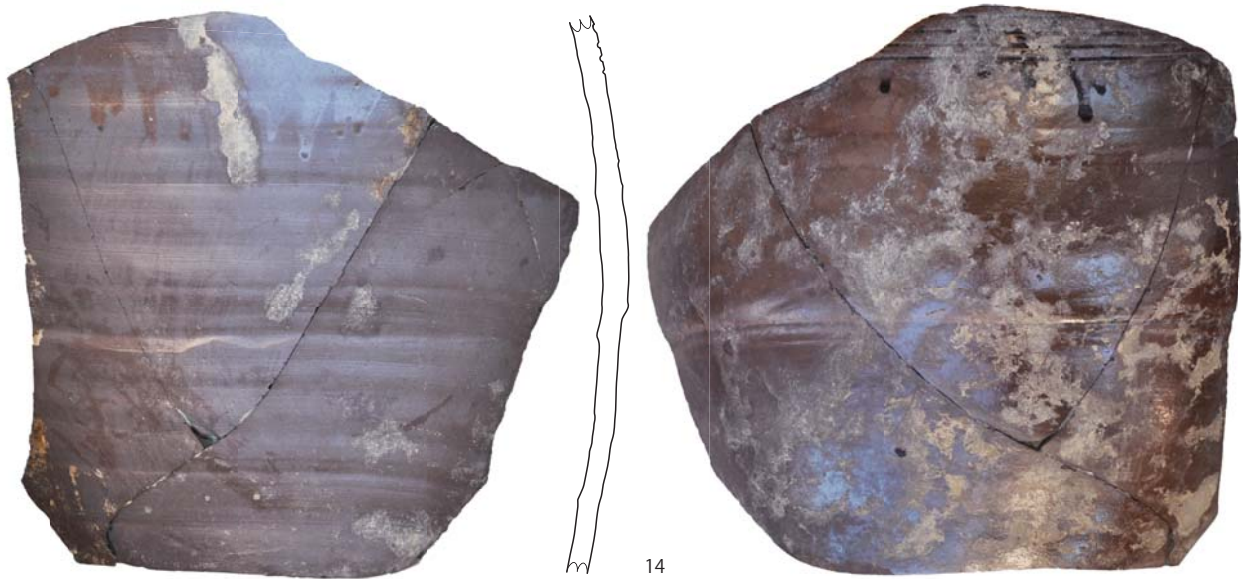
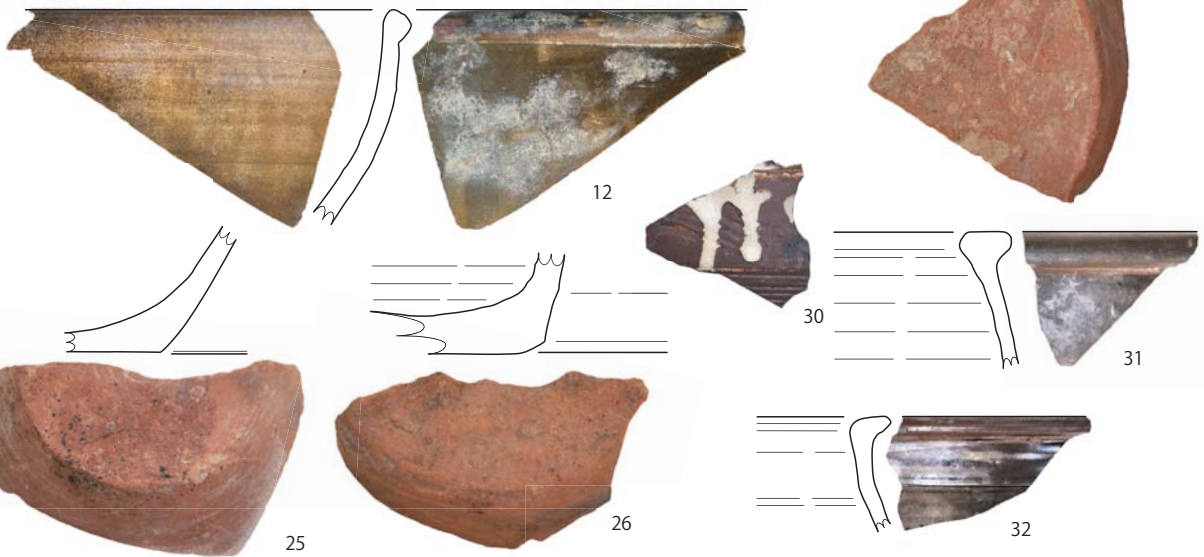
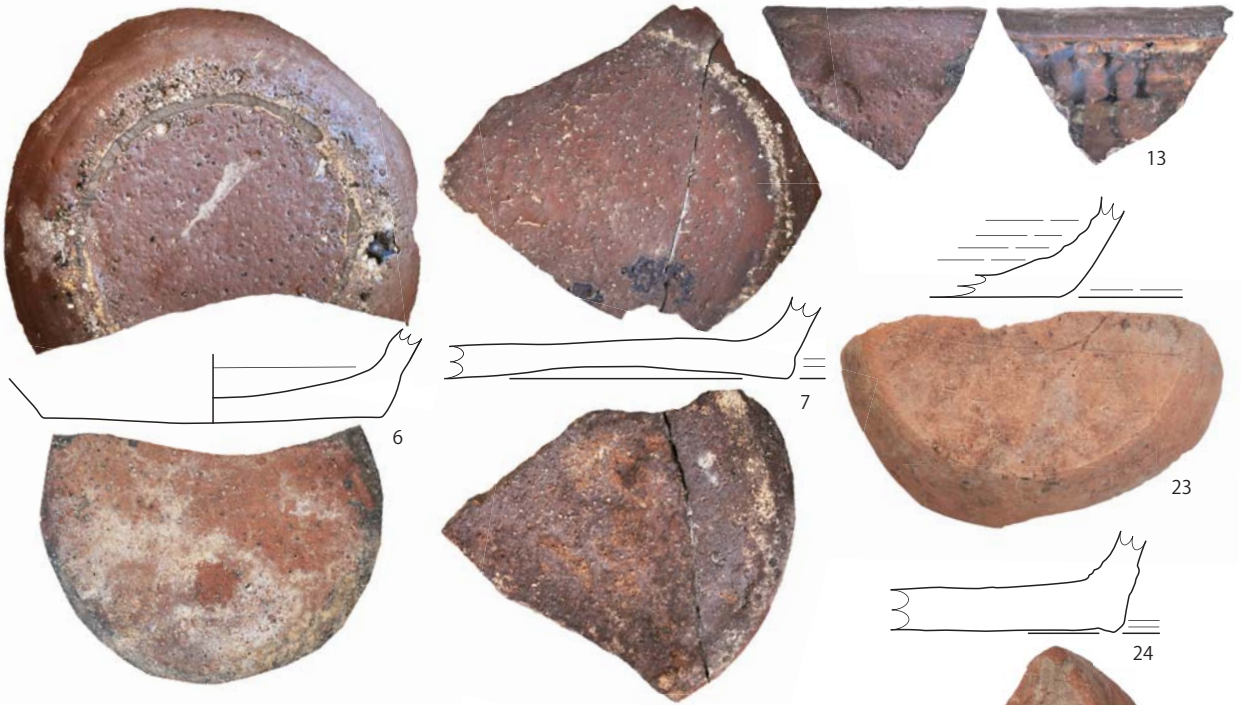


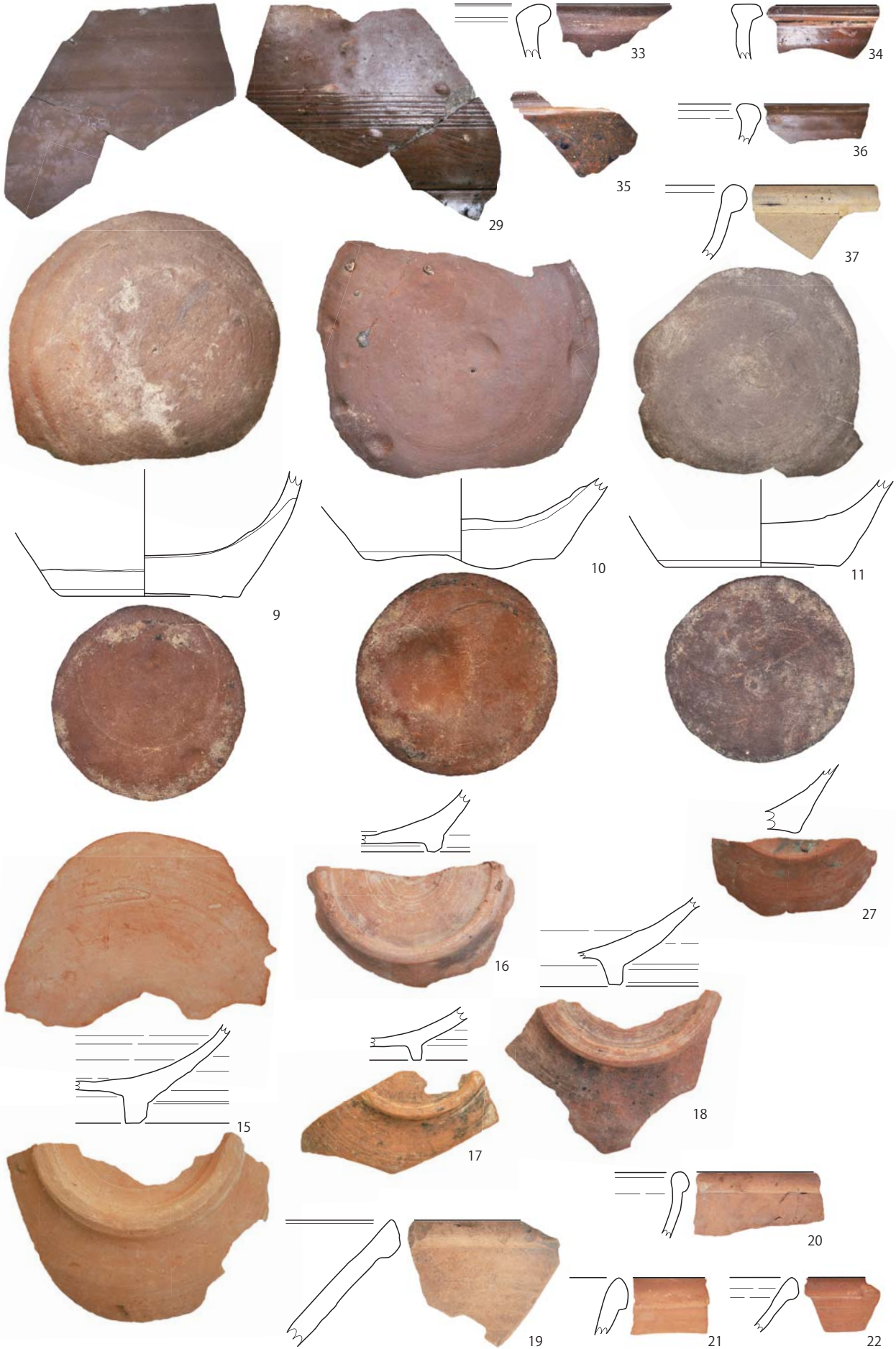
178

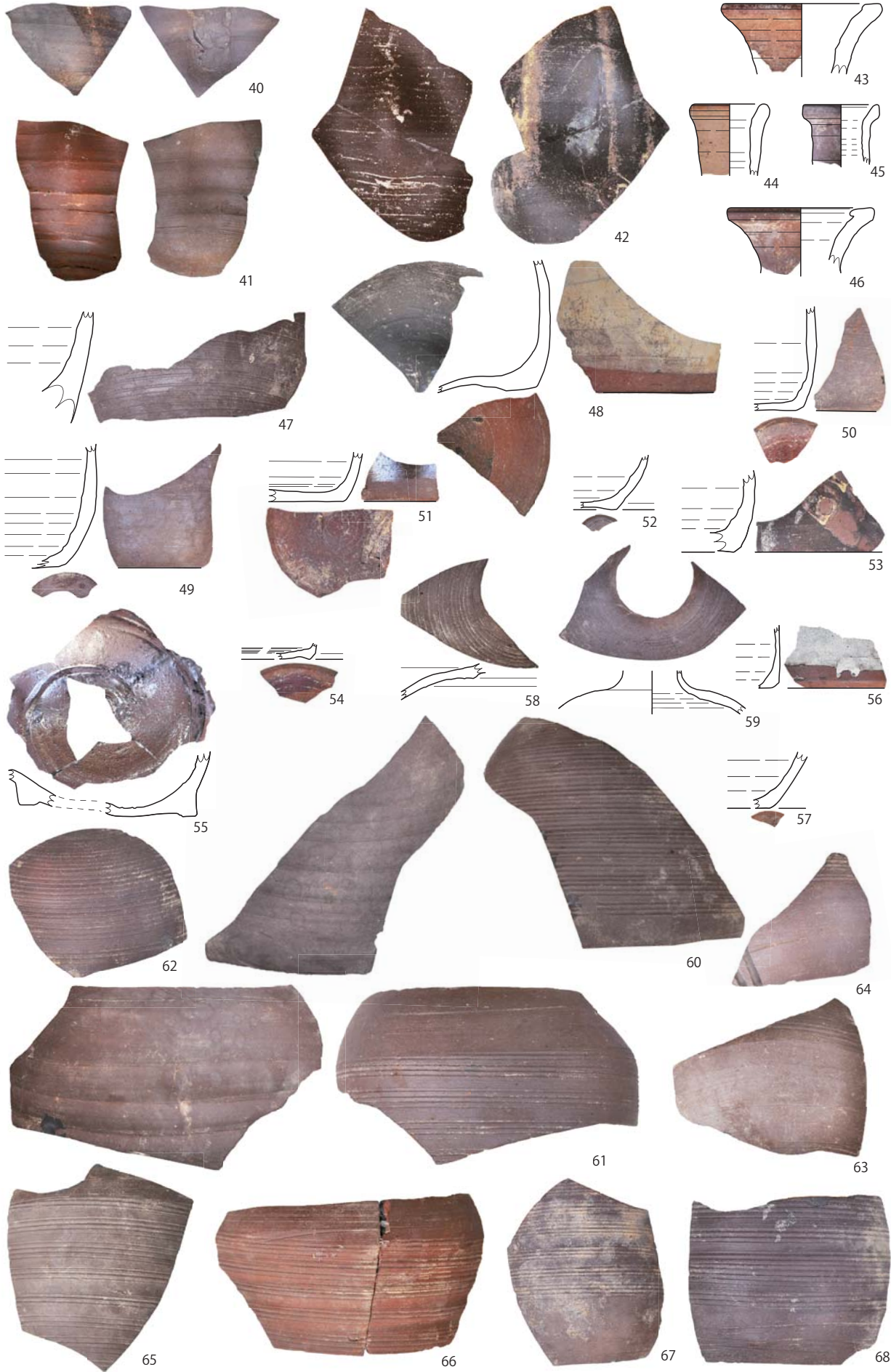


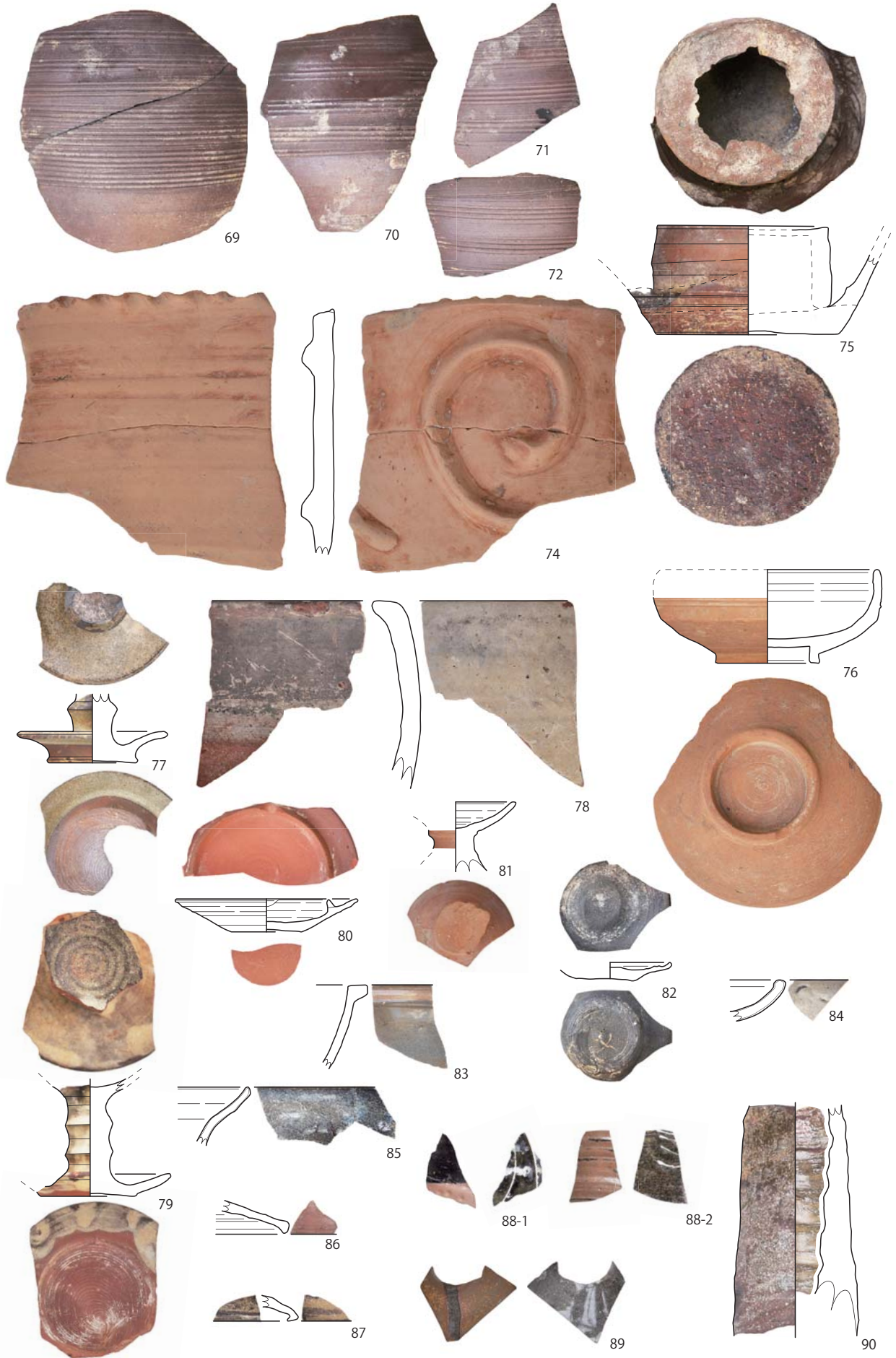
177

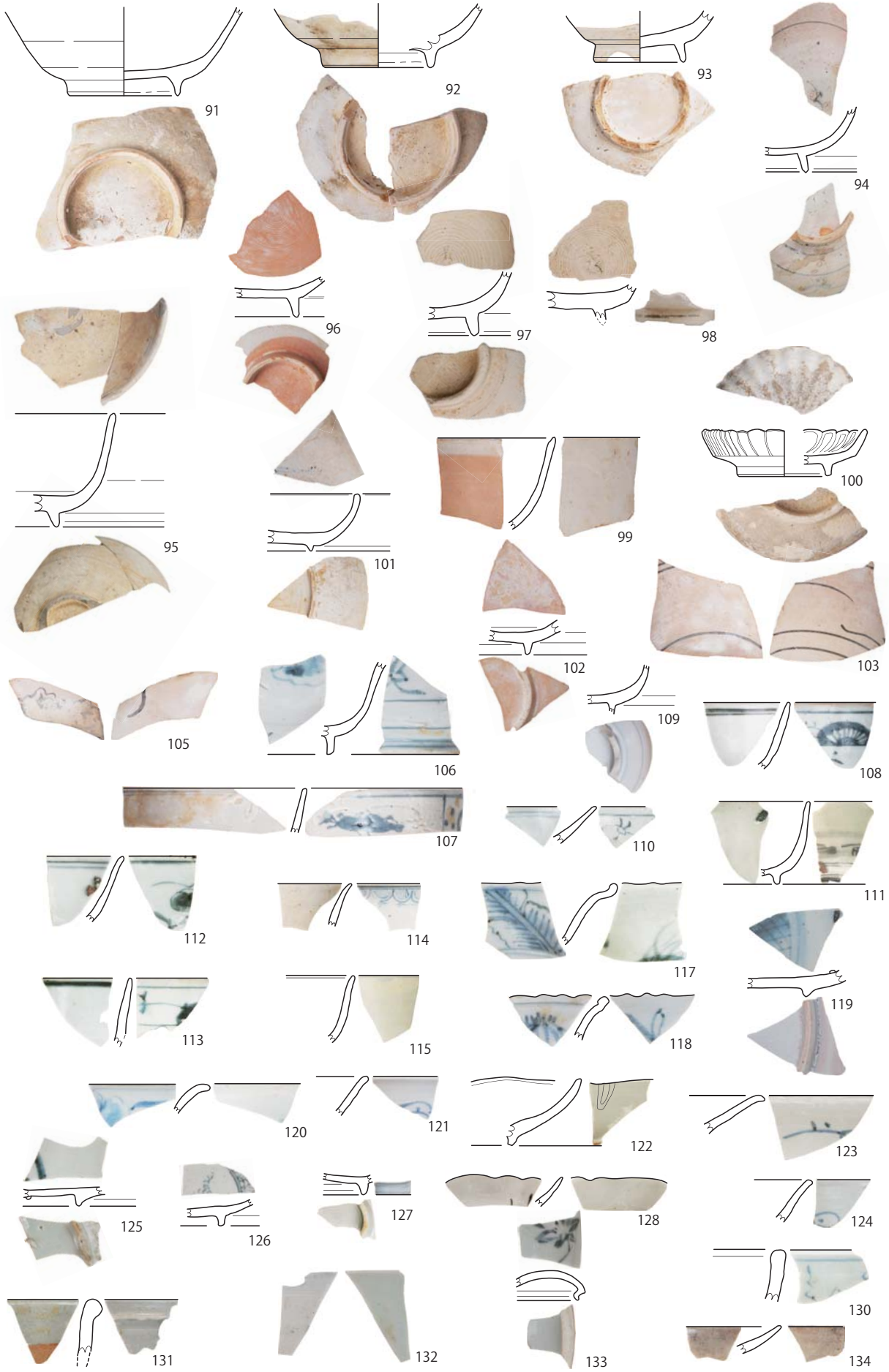


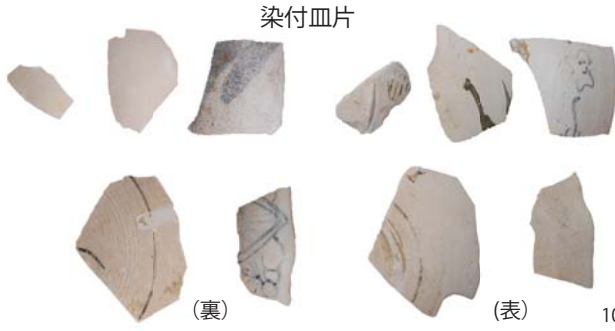








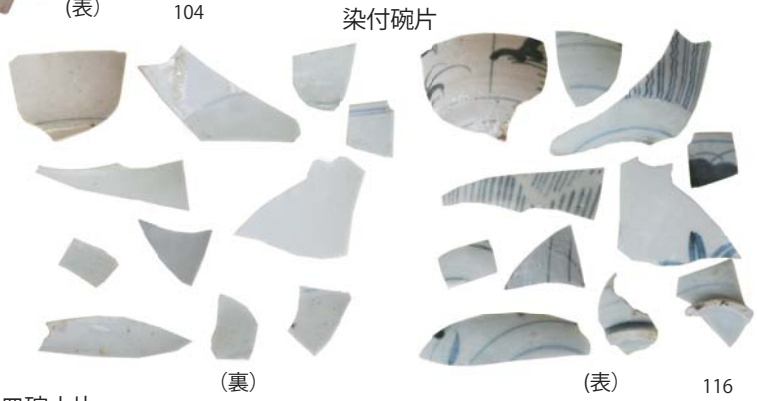




(裏)

(表)

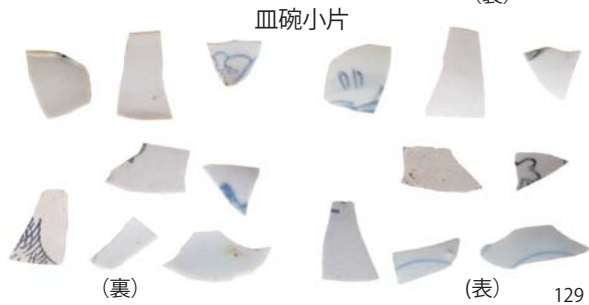
104



(裏)

(表)

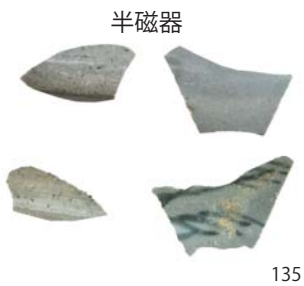
116



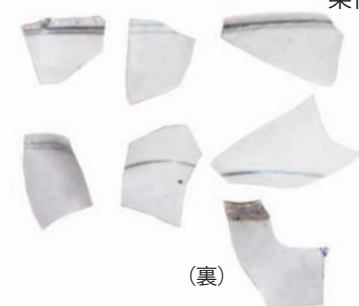
(裏)

(表)

129



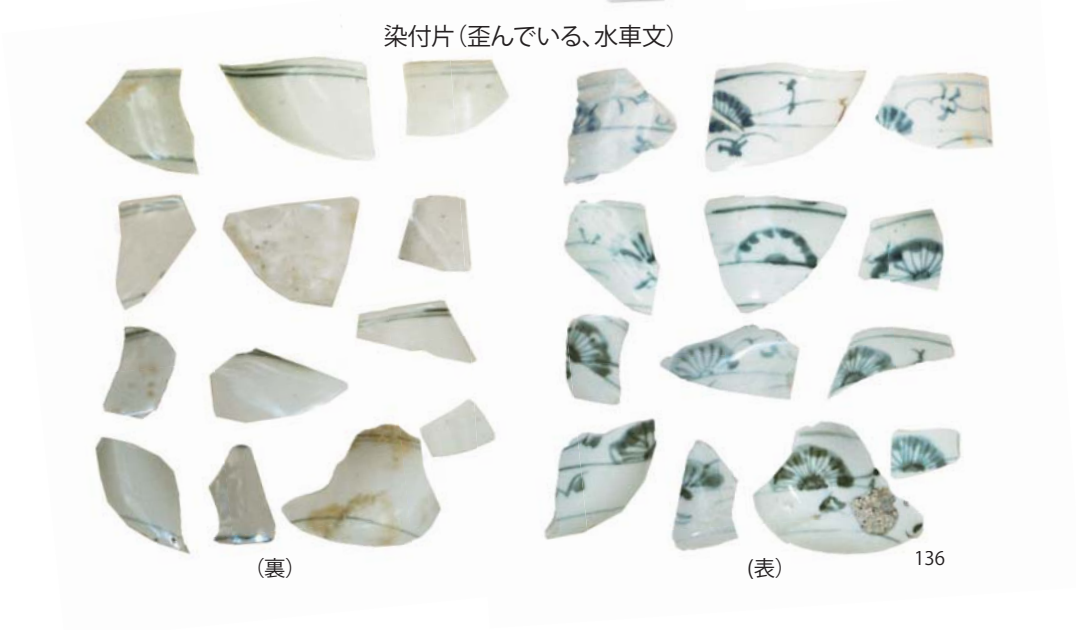
135



(裏)

(表)

137



(裏)

(表)

136

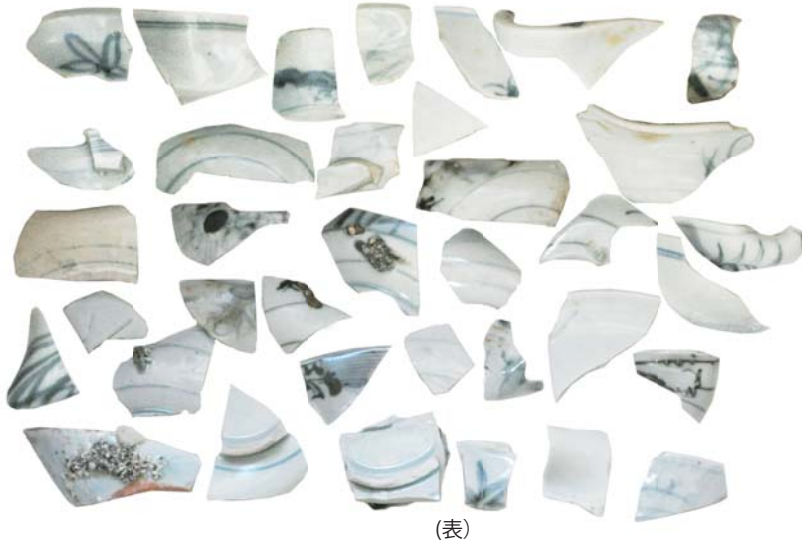
染付片(歪んでいる、網干帆掛船文)



染付片・白磁片(歪んでいる)



染付片(歪んでいる)



第1表 遺物観察表(窯道具) ツク

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)					特徴			特徴 その他	個数
			口(上)径	底(下)径	胴径	高さ	厚さ	色調	焼成	胎土		
1	1	ツク	11.0	11.2		34.4		10YR3/4	良	1.5cm以下の石を含む	下端に粗い砂付着	1
	2	ツク	11.4					N7/	良	1.5cm以下の石を含む	体部に染付が熔着している。	1
	5	ツク	11.2		9.0			2.5YR4/4	良	0.5cm以下の石を多く含む	布目の境目あり、布目痕有り	1
	6	ツク	11.7		9.0			10R3/3	良	1.0cm以下の石を含む	写真のみ、継目有り、布目有	1
2	7	ツク	11.6		9.3			2.5YR6/8	良	1.0cm以下の石を多く含む	継目有り	1
	8	ツク	11.1		9.1			2.5YR5/3	良	1.0cm以下の石を多く含む	写真のみ	1
1	10	ツク	9.8					5YR5/2	良	0.5cm以下の石を含む	写真のみ	1
	11	ツク	11.2		9.15			5YR3/3	良	1.0cm以下の石を含む	写真のみ	1
2	12	ツク	12.0		9.6			5YR5/3	良	1.0cm以下の石を多く含む	上部にワヂ熔着 継目有 体部に空洞有り 釉薬熔着	1
2	16	ツク	11.7		9.2			5YR5/2	良	0.5cm以下の石を多く含む	下端につながる砂混じり粘土が溶着している。床面か?	1
	17	ツク	11.0		9.6			5Y6/3	良	0.5cm以下の石を多く含む	上面に直径9cmの焼台の痕有	1
		ツク片	10.6					5YR5/2	良	1.0cm以下の石を含む	写真なし	1
		ツク片	12.8					10Y4/2	良	0.5cm以下の石を多く含む	写真なし	1

合計 13

第2表 遺物観察表(窯道具) トチン

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)					特徴			特徴 その他	個数
			口(上)径	底(下)径	胴径	高さ	厚さ	色調	焼成	胎土		
3	9	トチン	8.7	8.7	6.15	13.5		5YR3/2	良	0.5cm以下の石を含む	写真のみ 下端・上端に糸切痕有り	1
	20	トチン	11.8	10.2	6.9	14.0		5YR3/2	良	0.5cm以下の石を多く含む		1
	20-1	ツク	9.7	9.7	6.75	14.0		10Y4/2	良	0.5cm以下の石を多く含む	上(6.4)下(7.5)に高台痕有、胴部に光沢がある	1
	21	トチン	9.0		6.3	13.4		5YR6/2	良	0.5cm以下の石を多く含む	継目有り	1
	22	トチン	8.8		6.3			5YR6/2	良	0.5cm以下の石を多く含む		1
	23	トチン	8.2	8.2	6.0	13.5		5YR4/1	良	0.5cm以下の石を多く含む	両端部糸切痕有り	1
			トチン片			6.65			5YR4/2	不良 もろい	1.0cm以下の石を多く含む	
		トチン片				13.6		5YR4/1	良	0.5cm以下の石を多く含む	継目有り	1

合計 8

第3表 遺物観察表(窯道具) 中太トチン

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)					特徴			特徴 その他	個数
			口(上)径	底(下)径	胴径	高さ	厚さ	色調	焼成	胎土		
3	28	中太トチン	8.4	8.2	5.35	7.5		5YR3/3	良	1.0cm以下の石を含む	上端部に高台の熔着痕有り、両端部に糸きり痕あり	1
	31	中太トチン	7.5	7.6		7.2		5YR5/2	良	0.5cm以下の石を多く含む		1

合計 2

第4表 遺物観察表(窯道具) ナンキン

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)				特徴			特徴 その他	個数	
			口(上)径	底(下)径	胴径	高さ	厚さ	色調	焼成			胎土
4	24	ナンキン	6.5	8.1-9.1		11.3		5YR5/3	良	0.5cm以下の石を多く含む	上端部に高台の熔着痕有り、胴部に釉薬熔着	1
	25	ナンキン	6.4	11.0		10.5	2.25	5YR3/3	良	0.5cm以下の石を多く含む		1
	26	ナンキン	6.8	8.6		10.8	2.05	5YR3/3	良	0.5cm以下の石を多く含む	裾に砂多く付着	1
	27	ナンキン	6.0	8.2		9.3		5YR5/2	良	0.5cm以下の石を多く含む		1
	29	ナンキン	6.4	9.0		11.3		5YR5/2	良	0.5cm以下の石を多く含む		1
	30	ナンキン	7.0	6.2		7.8		5YR4/2	良 製品磁	緻密 断面黒色	内面に砂付着 床に直置き	1
	32	ナンキン	7.2	5.6		7.7		5YR6/2	良	0.5cm以下の石を含む	中空である。底部に糸切痕有り	1
	33	ナンキン	7.2	9.0		9.3		5YR3/1	良 製品磁	0.1cmの石僅かに含む 蜜	断面 5YR5/3	1
	34	ナンキン	7.4	6.1		6.8		5YR4/2	良 製品磁	緻密 断面黒色 底部糸切痕	中空 上部のほうが径が大きい 上部に糸切痕残る 内面砂付着 床直置き	1
	35	ナンキン	4.2	6.0		6.2		5YR3/1	良 製品磁	緻密 断面黒色		1
	36	ナンキン	8.0					5YR5/2	良 製品磁	緻密 断面黒色	上端部に高台の熔着痕有り 胴部に砂付着	1
	37	ナンキン	4.6	5.4		6.5		5YR4/1		0.5cm以下の石を多く含む	底部糸きり痕	1
	38	ナンキン	5.6	5.0		5.3		5YR5/2	良 製品磁	緻密 断面黒色	底部糸きり痕	1
	39	ナンキン	6.0	4.6		4.8		5YR5/2	良 製品磁土		底部に砂多く付着 床に直置き	1
40	ナンキン	5.4	5.4		6.5		5YR4/2	良 製品磁土		上部中央に穴がある	1	
41	ナンキン	5.6	3.2		3.5		5YR4/1	良 製品磁土		底部に砂付着 床に直置き	1	
42	ナンキン	6.0	4.2		4.0		5YR5/2	良 製品磁土		底部に砂多く付着 床に直置き	1	
		ナンキン片						5YR5/2	不良 もろい	0.5cm以下の石を非常に多く含む	写真なし	1
		ナンキン片		6.1				5YR4/2		0.5cm以下の石を多く含む	中空である 底部糸きり痕 写真なし	1
		ナンキン片		5.8				5YR4/2	良 製品磁	0.1cmの石僅かに含む 蜜	底部糸きり痕 写真なし	1

合計 17

第5表 遺物観察表(窯道具) 足付ハマ

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)				特徴			特徴 その他	個数	
			口(上)径	底(下)径	足高	高さ	厚さ	色調	焼成			胎土
5	46	足付ハマ	8.1	8.1	1.15	2.0	0.85	5YR4/1	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔(ずれている) 五足 裏表糸きり痕	1
	47	足付ハマ	8.2	8.2	1.5	2.3	0.75	5YR4/1	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足(1本欠損) 裏表糸きり痕	1
	48	足付ハマ	8.1	8.1	1.25	2.1	0.75	5YR3/3	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足 裏表糸きり痕	1
	49	足付ハマ	9.0	9.0	1.5	2.4	0.7	5YR4/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足 裏表糸きり痕	1
	50	足付ハマ	8.1	8.1	1.4	2.5	1.15	5YR6/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足 裏表糸きり痕	1
	51	足付ハマ	8.2	8.2	1.5	2.4	0.95	5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足(2本欠損) 裏表糸きり痕	1
	52	足付ハマ	8.4	8.4	1.4	2.3	0.95	5YR5/1	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足 裏表糸きり痕	1
	53	足付ハマ	8.1	8.1	1.5	2.35	0.95	5YR3/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足 裏表糸きり痕	1
	54	足付ハマ	10.2	10.2	1.5	2.7	1.2	5YR6/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足(3本欠損) 裏表糸きり痕 半分残	1
	55	足付ハマ	8.1	8.1	1.5	2.4	0.85	5YR4/1	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足(2本欠損) 砂付着) 裏表糸きり痕 半分残	1

5	56	足付ハマ	9.2	9.2	1.6	2.6	0.95	5YR3/1	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足(2本欠損)裏表糸きり痕 半分残 上部高台痕	1
	57	足付ハマ	8.8	8.8	1.1	2.0	0.85	5YR3/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	五足(3本欠損)裏表糸きり痕 半分残	1
	58	足付ハマ(大)	10.0	10.0	1.7	2.8	1.25	5YR4/1	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足(1本欠損)裏表糸きり痕	1
	59	足付ハマ(大)	10.0	10.0	2.3	3.1	1.25	5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔なし 五足 裏表糸きり痕	1
	60	足付ハマ	9.0	9.0	1.5	2.5	0.95	5YR4/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔(ずれている) 五足 裏表糸きり痕	1
	61	足付ハマ(大)	10.1	10.1	1.6	2.7	1.15	5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足(1本欠損)裏表糸きり痕	1
	62	足付ハマ	9.6	9.6	1.3	1.7	0.55	5YR4/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足 底部に砂多く付着 裏表糸きり痕 薄手	1
6	63	足付ハマ(小)	7.4	7.4	1.5	2.4	0.95	5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心の孔なし 五足 裏表糸きり痕	1
	64	足付ハマ(小)	7.6	7.6	1.6	2.3	0.75	5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足 裏表糸きり痕 上部に高台痕	1
	65	足付ハマ(小)	7.4	7.4	1.45	2.3	0.85	5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 四足 裏表糸きり痕	1
	66	足付ハマ(大)	10.2	10.2	1.35	2.3	0.95	5YR5/3	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足(3本欠損)裏表糸きり痕 上部に高台痕	1
	67	足付ハマ(小)	7.2	7.2	1.6	2.3	0.85	5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 四足 裏表糸きり痕	1
	68	足付ハマ(小)	7.2	7.2	1.45	2.2	0.75	5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足(3本欠損)裏表糸きり痕	1
	69	足付ハマ(小)	7.0	7.0	1.5	2.3	0.85	5YR4/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 四足 裏表糸きり痕	1
	70	足付ハマ	8.0	8.0	1.1	1.85	0.95	5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	五足(2本欠損)裏表糸きり痕 1/3残	1
	71	足付ハマ	8.6	8.6	1.1	2.1	0.95	5YR4/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足(3本欠損)裏表糸きり痕 1/3残	1
	72	足付ハマ(小)	5.8	5.8	1.3	1.9	0.85	5YR6/3	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心部に孔 3足(1本欠損)裏表糸きり痕 1/3残	1
	73	足付ハマ(小)	5.1	5.1	1.0	1.9	0.85	5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心部に孔 3足 裏表糸きり痕	1
91	足付ハマ	6.8		1.9	2.9	1.15	2.5YR4/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	中心に孔 五足(2本欠損)裏表糸きり痕 1/2残	1	
		足付ハマ片									3点 写真なし	3

合計 32

第6表 遺物観察表(窯道具) ハマ

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)					特徴			特徴 その他	個数
			口(上)径	底(下)径	胴径	高さ	厚さ	色調	焼成	胎土		
6	43	ハマ(大)	14.0	5.6		1.8	1.15	5YR4/6	良 密	0.3cm以下の石を含む	碁筭底 上面にアルミナ状の泥を塗る 底部は削り調整される。中央に熔着痕有り	1
	44	ハマ(大)	14.4	5.9		1.7	0.65	5YR6/3	良 密	0.3cm以下の石を含む	碁筭底 上面にアルミナ状の泥を塗る 底部削り調整、中央に円形熔着痕有り	1
	74	ハマ	7.6	3.9		1.1		5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	低部碁筭底状 上部にアルミナ状の泥を塗る	1
	75	ハマ	6.0	3.7		1.2		5YR4/4	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	低部碁筭底状 上部にアルミナ状の泥を塗る	1
	76	ハマ	6.1	3.65		1.1		2.5Y6/1	良 緻密	0.1cmの石含む やや粗い	低部碁筭底状 砂付着 上部にアルミナ状の泥を塗る	1
	77	ハマ	6.1	3.6		1.1		5YR5/3	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	低部碁筭底状 上部にアルミナ状の泥を塗る(剥落気味)	1
	78	ハマ	6.0	3.35		1.1		2.5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む 断面灰色	低部碁筭底状 上部にアルミナ状の泥の刷毛跡よく残る	1
	79	ハマ	6.1	3.85		0.8		5YR5/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む	低部碁筭底状 上部にアルミナ状の泥の刷毛跡よく残る	1
	80	ハマ	5.0	3.1		1.1		2.5YR4/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む 断面灰色	低部碁筭底状 上部に高台痕	1
	81	ハマ	5.6	3.3		0.9		2.5YR4/2	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む 断面灰色	低部碁筭底状 上部に高台痕	1
	82	ハマ	6.4			0.9		5YR5/3	良 緻密	0.1cmの石僅かに含む 断面淡灰色	1/4遺存 低部碁筭底状 上部にアルミナ状の泥を塗る	1

合計 11

第7表 遺物観察表(窯道具) 蛸足ハマ

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)					特徴			特徴 その他	個数	
			最大長	足長	穴径	穴深	高さ	色調	焼成	胎土			
7	83	蛸足ハマ	24.2	7.0	4.5	3.7	1.7	4.8	2.5Y6/4	良好	0.5mm以下の石を多く含む	足6本 上部中央にツク痕 足先上部にハマ痕有り、上下面とも布目痕あり	1
	84	蛸足ハマ	27.0	9.5	2.4	1.85	7.7	2.5Y4/2	良好	1.0mm以下の石を多く含む	足4本 上下部中央にツク痕、足先上部にハマ痕有り 下面に布目痕あり	1	
9	85	蛸足ハマ	24.1	7.0	3.8	1.9	4.8	2.5Y5/4	良好	0.5mm以下の石を多く含む	足6本 上下部中央にツク痕、足先上部にハマ痕有り 上下面に布目痕あり	1	
	86	蛸足ハマ	23.8	7.2	3.6	1.6	4.55	2.5Y5/2	良好	1.0mm以下の石を多く含む	足6本(1本欠) 上下部中央にツク痕、足先上部にハマ痕有り 上下面に布目痕あり	1	
8	87	蛸足ハマ		9.0	2.0	1.8	0.7	4.4	5YR6/2	良好	0.5mm以下の石を多く含む	足4本 上部中央にハマ痕、足先上部にツク痕有り 下面に布目痕あり	1
	88	蛸足ハマ	24.4	9.0	2.3	2.1	0.6	4.4	5Y6/6	良好	0.5mm以下の石を多く含む	足4本、下面に布目痕あり	1
7	89	蛸足ハマ	22.2	8.0	2.8	2.6	1.45	4.3	5Y6/3	良好	0.5mm以下の石を多く含む	足4本 上下部中央にツク痕、足先上部にハマ痕有り 表に布目痕あり 2丸印	1
8	90	蛸足ハマ		7.0	4.6	4.0	1.45	4.6	5Y5/2	良好	1.0mm以下の石を多く含む	足6本 上部アルミナ状泥 下部にワド子熔着 上下面に布目痕あり	1
9	4	蛸足ハマ					4.2		2.5YR6/4	不良 もろい	0.5cm以下の石を多く含む	5足	1
2	18	蛸足ハマ+ツク			9.8				5YR4/4	良	0.5cm以下の石を多く含む	蛸足ハマの足は欠損。高さは4.1cm。釉付着	1
		蛸足ハマ(足)							5YR5/2		0.5cm以下の石を多く含む	写真なし	1

合計 11

第8表 遺物観察表(窯道具) 大型焼台

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)					特徴			特徴 その他	個数		
			口(上)径	底(下)径	胴径	高さ	厚さ	色調	焼成	胎土				
10	3	大型焼台	23.0						7.5R4/3	良	1.5cm以下の石を多く含む	体部に孔がある。	1	
3	13	大型焼台	24.0		3.7				5YR5/2	良	1.0cm以下の石を多く含む	一方がすぼんでいる。	1	
10	14	大型焼台	22.0						5YR3/2	良	1.0cm以下の石を多く含む	中心に孔がある。	1	
10	15	大型焼台							5YR3/1	良	1.0cm以下の石を多く含む	縁が鐳状になる。	1	
10	19	大型焼台	23.2						5YR3/2	良	1.0cm以下の石を含む	上端にツクの熔着痕あり	1	
		大型焼台							10R4/2	良	1.0cm以下の石を多く含む	写真なし	1	
		大型焼台							3.15	5YR3/2	良	1.0cm以下の石を多く含む	写真なし	1
		大型焼台							3.65	5YR3/2	良	1.0cm以下の石を多く含む	写真なし 外面よく熔けている	1
		大型焼台	16.4						2.25	5YR7/4	不良 柔らか	0.5cm以下の石を含む	写真なし	1
		大型焼台							3.15	5YR3/2	良	1.0cm以下の石を多く含む	写真なし	1
		大型焼台							2.65	2.5YR6/5	良	0.5cm以下の石を多く含む	写真なし	1

合計 11

第9表 遺物観察表(窯道具) 焼台

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)・形体					特徴			特徴 その他	個数
			口(上)径	底(下)径	高さ	厚さ	エグリ	色調	焼成	胎土		
10	92	焼台	17.0	17.0	5.4	0.95	2	2.5YR6/4	良 やや粗	0.1cm以下の石を多く含む	上面に高台痕 糸切をケズリで消す	1
	93	焼台	18.0	18.0	4.7	0.65	1	7.5YR6/6	不良 蜜	0.1cm以下の石を僅かに含む	焼き悪い 糸切をケズリで消す	1
	94	焼台	22.0	22.0	6.55	0.8		2.5YR3/2	良 やや粗	0.1cm以下の石を多く含む	上面に高台痕 糸切をケズリで消す	1
	95	焼台	23.0	21.0	6.4	1.05		5YR5/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕 糸切をケズリで消す	1
11	96	焼台	23.0	21.0	6.5	1.15		5YR4/1	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕 糸切をケズリで消す	1
	97	焼台	19.0	19.0	5.1	0.8		5YR5/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕 糸切をケズリで消す	1
	98	焼台	15.0	15.0	4.75	0.65	1	5YR4/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面ナデ、泥付着	1
	99	焼台	18.0	16.0	4.35	0.65	2	5YR5/4	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に糸きり痕	1
	100	焼台	18.4	18.4	5.8	0.95		5YR4/1	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	101	焼台	18.0	18.0	5.3	1.01		5YR4/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	102	焼台	18.0	18.0	4.2	0.65		5YR5/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に糸きり痕	1
	103	焼台	18.0	18.0	5.7			5YR6/6	不良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	柔らかい	1
	104	焼台	18.0	16.0	4.3	0.75		5YR5/4	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕	1
	105	焼台	18.0	16.0	5.0			5YR5/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕、糸切をケズリで消す	1
	106	焼台	18.8	18.0	5.4	0.75		5YR5/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕	1
12	107	焼台	15.0	15.0	6.3	0.65		5YR5/3	良 緻密	0.1cm以下の石を含む	上面に糸きり痕 上面に高台痕	1
	108	焼台	14.1	14.0	4.4	0.55	2	5YR5/2	良 緻密	0.1cm以下の石を含む	上面に糸きり痕 上面に高台痕	1
	109	焼台	15.0	14.0	4.5	0.75	1	5YR4/2	良 緻密	0.1cm以下の石を含む	上面に糸きり痕 上面に高台痕	1
	110	焼台	13.0	13.0	5.6			5YR5/2	やや不良 密	0.1cm以下の石を多く含む	上面に高台痕	1
	111	焼台	14.0	14.0	4.4	0.85		5YR5/1	良 緻密	0.1cm以下の石を含む	上面に糸きり痕 上面に高台痕	1
	112	焼台	16.4	13.6	4.3		2	5YR5/3	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に糸きり痕 糸切りを離す時の指痕あり	1
	113	焼台	15.1	16.1	5.0	0.85		2.5YR5/4	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に糸きり痕 上面に高台痕	1
	114	焼台	15.2	15.2	6.4	1.45		5YR5/3	良 やや粗	0.1cm以下の石を多く含む	上面に高台痕 厚手 粗製	1
	115	焼台	14.6	14.6	5.7			5YR4/2	良 緻密	0.1cm以下の石を多く含む	上面に高台痕	1
	116	焼台	17.0	16.0	5.4	1.1		5YR7/8	不良 蜜	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に一部糸きり痕 上面に高台痕	1
	117	焼台	15.1	15.1	6.3			2.5YR4/3	良 やや粗	0.1cm以下の石を多く含む	上面に高台痕	1
	118	焼台	14.4	13.0	4.1		1	5YR4/1	良 密	0.1cm以下の石を多く含む	上面に高台痕	1
	119	焼台	16.0	16.0	4.45	0.8	1	7.5YR5/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕	1
	120	焼台	14.1	14.1	4.45	0.7	1	10YR6/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に糸きり痕 上面に高台痕	1
13	121	焼台	15.1	15.1	4.5	5.5	1	5YR5/3	良 密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に糸きり痕 上面に高台痕	1
	122	焼台	14.4	14.4	6.3			5YR5/2	不良 緻密	0.1cm以下の石を多く含む	上面に高台痕	1
	123	焼台	14.1	14.1	5.8	0.55		2.5YR6/4	良 密	0.3cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕	1
	124	焼台	15.0	14.4	4.2	0.65	2	2.5YR6/4	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に糸きり痕 上面に高台痕	1
	125	焼台	13.6	13.6	5.8			5YR4/2	良 やや粗	0.1cm以下の石を多く含む	上面に高台痕 下端部に撞目痕有り	1
	126	焼台	13.4	13.4	6.35			5YR4/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に糸きり痕	1

	焼台片									33点	33	
13	127	焼台	13.8	12.8	6.1			2.5YR5/2	良 密	0.1cm以下の石を多く含む	上面に糸きり痕 上面に高台痕	1
	128	焼台	12.4	12.4	5.7			2.5YR5/3	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕 ケズリ	1
	129	焼台	11.2	11.2	5.6			5YR5/2	良 やや粗	0.3cm以下の石を多く含む	厚手 粗製 上面糸切痕 ケズリ	1
	130	焼台	12.2	12.2	3.9		1	5YR4/1	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕	1
	131	焼台	13.9	12.2	4.3	0.75	1	5YR5/1	良 緻密	0.1cm以下の石を多く含む	上面に糸きり痕 上面に高台痕 下端部に播目痕	1
	132	焼台	12.6	12.6	5.75	0.55		5YR6/6	不良 緻密	0.1cm以下の石を多く含む	上面に糸きり痕	1
	133	焼台	12.4	12.4	4.4			5YR5/3	良 密	0.1cm以下の石を含む	上面に高台痕	1
	134	焼台	13.9	12.9	5.3	0.65		5YR5/2	良 粗	0.1cm以下の石を多く含む		1
	135	焼台	15.0	12.4	4.8	0.6	2	2.5YR5/4	良 緻密	0.1cm以下の石を多く含む	上面に糸きり痕 上面に高台痕	1
14	136	焼台	12.6	11.1	3.2			7.5YR5/3	良 密	0.1cm以下の石を多く含む		1
	137	焼台	12.8	12.4	3.9	0.65	1	5YR5/1	良 緻密	0.1cm以下の石を多く含む	上面に高台痕 泥付着 下端部に播目痕有り	1
	138	焼台	12.2	13.4	6.2			7.5YR5/3	良 粗	0.1cm以下の石を多く含む	厚手 粗製	1
	139	焼台	12.8	12.8	4.7	0.65	2	5YR5/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕	1
	140	焼台	12.2	12.6	4.6			5YR5/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕 陶器質 糸切痕 ケズリ	1
	141	焼台	12.2	12.0	3.4	0.65		5YR5/2	良 やや粗	0.1cm以下の石を多く含む	上面に高台痕 下端部に播目痕	1
	142	焼台	11.4	11.1	4.8	0.75		2.5YR5/3	良 密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕 泥付着 陶器質	1
	143	焼台	12.8	13.0	5.4			2.5YR6/4	良 密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕 泥付着 下端に熔着痕 陶器質	1
	144	焼台	14.8	13.0	6.3			2.5YR4/2	良 やや粗	0.1cm以下の石を含む	上面ケズリ 高台痕	1
	145	焼台	11.0	11.0	5.5			5YR5/2	良 密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に糸きり痕 高台痕 下端に熔着痕 陶器質	1
	146	焼台	10.8	10.8	4.3	0.75		5YR5/3	良 密	0.1cm以下の石を多く含む	上面に高台痕 泥付着	1
	147	焼台	11.6	9.6	3.8	0.35		2.5YR5/1	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕 陶器質	1
	148	焼台	11.4	9.8	3.6	0.45		5YR5/3	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に泥付着 陶器質	1
	149	焼台	11.6	11.6	5.2			5YR5/3	良 やや粗	0.1cm以下の石を多く含む	下端内面に泥・砂付着、剥落有 長石噴出	1
	150	焼台	9.2	9.2	4.4	0.65		2.5YR7/6	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕 陶器質	1
	151	焼台	9.0	9.0	3.4	0.85		2.5YR5/3	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に泥付着 高台痕 断面黒色 陶器質	1
15	152	焼台	9.2	9.2	3.8	0.45		2.5YR5/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕 陶器質	1
	153	焼台	10.3	9.1	5.3	0.65		2.5YR4/1	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に糸きり痕、高台痕、陶器質	1
	154	焼台	10.4	10.4	4.2	0.55		5YR5/2	良 密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面高台痕 泥付着、陶器質、下端内面泥付着	1
	155	焼台	10.0	9.0	4.2	0.65		2.5YR5/3	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕	1
	156	焼台	9.2	9.2	4.3	0.7		2.5YR5/1	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に高台痕 糸切をケズリで消す 陶器質	1
	157	焼台	8.5	8.5	4.6	0.65		2.5YR4/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に泥付着 陶器質 下端内面に砂付着	1
	158	焼台	10.4	10.1	3.85	0.4		2.5YR4/2	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に泥付着	1
	159	焼台	9.0	8.1	3.8	0.45		2.5YR5/3	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に泥付着 下端部に熔着痕有り	1
	160	焼台	10.8	10.6	4.1			10YR6/2	不良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面に泥付着	1
	161	焼台	8.2	8.2	3.75			10YR6/2	不良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上面糸切痕 ケズリ	1
	162	焼台	9.0	9.0	3.4			5YR4/2	良 密	0.1cm以下の石を多く含む	上面に泥付着 下端部一部に播目痕	1
	163	焼台	12.0	11.4	3.45		1	5YR4/3	良 密	0.1cm以下の石を多く含む	上面に泥付着 下端に(熔着痕)	1

第10表 遺物観察表(窯道具) 花卉状焼台

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)・形体					特徴			特徴 その他	個数
			口(上)径	底(下)径	高さ	厚さ	エグリ	色調	焼成	胎土		
15	164	花卉状焼台	14.5	13.0	5.4	1.15	5	5YR4/2	良 密	0.1cm以下の石を僅かに含む	下端設地点剥落 上部泥付着 高台痕有り	1
	165	花卉状焼台	15.0	15.0	4.3	0.65	2	5YR5/2	良 密	0.1cm以下の石を多く含む	エグリ間幅が小 上部泥付着 高台痕有り 下端部に播目痕有り	1
	166	花卉状焼台	15.5	15.5	4.95	1.35	3	5YR5/2	良 密	0.1cm以下の石を僅かに含む	下端設地点剥落 高台痕有り	1
	167	花卉状焼台	15.0	15.0	4.8	0.95	4	2.5YR5/3	良 密	0.1cm以下の石を僅かに含む	下端設地点剥落 高台痕有り	1
16	168	花卉状焼台	15.0	15.0	4.8	1.1	3	2.5YR6/3	良 密	0.1cm以下の石を多く含む	下端設地点剥落 高台痕有り	1
	169	花卉状焼台	12.8	12.8	3.6		2	2.5YR5/2	良 密	0.1cm以下の石を多く含む	エグリ間の幅が小さい 上部泥付着 下端部に播目痕有り	1
	170	花卉状焼台	12.1	11.1	3.9	0.45	3	2.5YR4/3	良 緻密	0.1cm以下の石を僅かに含む	上部に高台痕有	1
	171	花卉状焼台	13.2	13.2	4.1	0.7	3	2.5YR5/2	良 密	0.1cm以下の石を僅かに含む	下端部設地点剥落 上面に糸きり痕	1
	172	花卉状焼台	13.2	13.2	4.7		2	5YR5/2	良 粗	0.1cm以下の石を多く含む	下端設地点剥落 上部糸きり痕、高台痕有り	1
	173	花卉状焼台	11.2	10.5	3.6		3	5YR5/2	良 粗	0.1cm以下の石を多く含む	下端設地点剥落 高台痕有り	1
	174	花卉状焼台	11.6	11.6	3.05		2	7.5YR5/1	良 粗	0.3cm以下の石を多く含む	エグリ間の幅が小さい 上面に糸きり痕	1
	175	花卉状焼台	11.4	10.2	2.55	0.55	5	2.5YR5/2	良 粗	0.3cm以下の石を多く含む	エグリ短く浅い 間隔幅が小 上面糸きり痕	1
	176	花卉状焼台	11.6		5.5		2	2.5YR4/2	良 密	0.1cm以下の石を僅かに含む	下端設地点剥落 高台痕有り 陶器質	1
	177	花卉状焼台	7.0	8.4	1.8	0.7	4	2.5YR5/2	良 密	0.1cm以下の石を僅かに含む	下端部設地点剥落 上面回転糸切痕 陶器質	1
178	花卉状焼台	7.4	8.0	1.4	0.25	5	2.5YR5/2	良 密	0.1cm以下の石を僅かに含む	下端部設地点剥落 上面回転糸切痕 陶器質	1	

合計 15

第11表 遺物観察表(窯道具) トンバリ

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)・形体					特徴			特徴 その他	個数
			口(上)径	底(下)径	高さ	厚さ	エグリ	色調	焼成	胎土		
		トンバリ						10R4/2	良	1.0cm以下の石を多く含む	表面はよく熔けている	1
		トンバリ						10R4/2	良	1.0cm以下の石を多く含む	表面はよく熔けている	1
		トンバリ						5YR4/1	良	1.0cm以下の石を多く含む	表面はよく熔けている	1
		トンバリ					2.1	5YR3/2	良	1.0cm以下の石を多く含む	外面よく熔けている	1
		トンバリ						5YR4/2	不良 柔らか	1.0cm以下の石を多く含む		1
		トンバリ	8.5					5YR6/5	不良 柔らか	0.5cm以下の石を含む		1

合計 6

窯道具総合計 231

第12表 遺物観察表(製品) 播鉢 壺 鉢

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)・形体					特徴			特徴 その他	その他
			口(上)径	底(下)径	高さ	厚さ	播目	色調	焼成	胎土		
17	1	播鉢	30.4	15.4	12.9		0.8 4	2.5YR4/1	良	0.1cm以下の石を多く含む	播放射状目、口縁端部内面なし 外面端部備前写 底に台の痕	1
	2	播鉢		8.4		0.35	1.1 7	7.5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	播放射状目、内面花卉状焼台痕有 高台有	1
	3	播鉢	21.0	9.1			0.8 5	5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	播放射状目、内面花卉状焼台痕5個有 底部外面砂、焼台痕	1
18	4	甕底部		11.6				5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	内面にハナレ砂 焼台熔着 底部外面に輪状にハナレ砂	1
	5	甕底部		17.0				5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	内面にハナレ砂と焼台痕 底部外面に砂 外端部が欠ける	1
	6	甕底部		14.0				5YR5/2	良	0.1cm以下の石を多く含む	内面にハナレ砂と焼台痕 底部外面に砂 外端部が欠ける	1
	7	甕底部		17.0				5YR5/3	良	0.1cm以下の石を多く含む	内面にハナレ砂と焼台痕 底部外面高台痕	1
	8	甕底部		12.8				5YR5/3	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	内面にハナレ砂 焼台熔着 底部外面に輪状にハナレ砂	1
19	9	壺底部		9.3				5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	底部外面に輪状にハナレ砂 ツク痕有 圏線糸切痕有	1
	10	壺底部		10.3				5YR5/3	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	底部外面に輪状にハナレ砂 底部にブク有り	1
	11	壺底部		9.4				5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	底部外面に輪状にハナレ砂 ケズリ有り	1
18	12	甕口縁						5Y5/4	良	0.1cm以下の石を多く含む		1
	13	甕口縁				1.8 0.8		5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	断面黒色 黒の釉垂有り	1
	14	甕体部						5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	沈線あり つなぎ目有り 黒の釉垂有り	1
19	15	鉢底部		10.0				5YR7/6	不良	0.1cm以下の石を多く含む	内面に焼台の痕 高台有り	1
	16	鉢底部		10.0				5YR6/6	不良	0.1cm以下の石を多く含む	高台有り 高台内糸きり痕有り	1
	17	鉢底部		8.4				5YR6/6	不良	0.1cm以下の石を僅かに含む	高台有り	1
	18	鉢底部		10.6				5YR6/6	不良	0.1cm以下の石を僅かに含む	高台有り	1
	19	鉢底部						7,5YR8/6	不良	0.1cm以下の石を僅かに含む	口縁玉縁有り	1
	20	鉢底部						7,5YR7/6	不良	0.1cm以下の石を多く含む	口縁玉縁有り	1
	21	鉢底部						5YR6/6	不良	0.1cm以下の石を多く含む	口縁玉縁有り	1
	22	鉢底部						5YR7/6	不良	0.1cm以下の石を多く含む	口縁玉縁有り	1
18	23	鉢底部		12.4				5YR6/6	不良	0.1cm以下の石を多く含む	底部ケズリ	1
	24	鉢底部		17.0				5YR7/6	不良	0.1cm以下の石を多く含む	底部糸切痕	1
	25	鉢底部		9.0				5YR7/6	不良	0.1cm以下の石を多く含む		1
	26	鉢底部		17.0				5YR7/6	不良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
19	27	壺底部		10.0				5YR7/8	不良	0.1cm以下の石を多く含む		1
	28	壺底部		15.0				5YR6/6	不良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	29	甕体部片					0.9	5YR4/3	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ	1
18	30	甕体部片					0.7	5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 白の釉垂有り	1
	31	甕口縁片						5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	口縁端部に面を持つもの	1
	32	甕口縁片						5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	口縁端部に面を持つもの	1

19	33	甕口縁片					5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	口縁端部に面を持つもの	1
	34	甕口縁片					5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	口縁端部に面を持つもの	1
	35	甕口縁片					5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	口縁端部に面を持つもの 釉はまだら状	1
	36	甕口縁片					5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	口縁端部がうちに伸び、面を持つ	1
19	37	甕口縁片				2.5Y8/3	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	口縁端部が肥厚する	1	
17	38	播鉢口縁片					5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	備前写し	1
	39	播鉢口縁片					5YR3/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	1.1cmに7本	1
		播鉢口縁片			0.9 6		5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	播放射状目、口縁端部内面なし	1
		播鉢口縁片			0.6 3		5YR5/3	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	播放射状目、口縁端部内面なし 外面端部備前写	1
		播鉢口縁小片					5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	三点	3
		播鉢口縁小片					5YR6/6	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	二点 焼の悪いもの	2
		壺底部小片					5YR5/2	良	0.1cm以下の石を含む	底部外面に輪状にハナレ砂	1
		壺底部小片					5YR6/3	良	0.4cm以下の石を多く含む	口縁端部は玉縁状である。鉢か？	1
		甕底部片					5YR4/1	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	内面に焼台熔着 高台有	1
		甕底部片					5YR4/2	良	0.1cm以下の石を多く含む	内面にハナレ砂と焼台痕 底部外端部に砂	1
		甕底部小片					5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	二点	2
		甕体部片						良		16点 プクのあるもの有り	16
		壺・甕底部片						不良	0.1cm以下の石を多く含む	6点 1点円筒形焼台	6
		壺・甕体部片						不良	0.1cm以下の石を多く含む	23点	23
		壺・甕体部片						良	0.1cm以下の石を含む	31点	31

合計 96

第13表 遺物観察表(製品) 徳利

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)・形体					特徴			特徴 その他	個数
			口(上)径	底(下)径	高さ	厚さ	播目	色調	焼成	胎土		
20	40	布袋徳利体部				0.35		5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ	1
	41	布袋徳利体部				0.35		5YR5/3	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ	1
		布袋徳利片									22点(灰釉のもの-5点)	22
20	42	布袋徳利体部				0.35		2.5YR5/1	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ	1
	43	徳利口縁部						10YR5/3	不良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	44	徳利口縁部						5YR7/6	不良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	45	徳利口縁部						5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	46	徳利口縁部						5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1

20	47	筋德利底部	13.0			5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	基筒底	1
	48	筋德利底部	13.0			7.5Y8/3	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	灰釉 基筒底	1
	49	筋德利底部片				5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	50	筋德利底部片				5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	51	筋德利底部片				5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	52	筋德利底部片				5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	53	筋德利底部片				5YR3/1	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	54	筋德利底部片				5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	55	筋德利底部片	9.3			5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	高台がある	1
	56	筋德利底部片				10Y7/1	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	灰釉 基筒底	1
	57	筋德利底部片				5YR7/8	不良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	58	筋德利頸部片				5YR4/1	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
59	筋德利頸部片				5YR4/1	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1	
		筋德利小片							2点 違う器種かもしれない?	2
20	60	筋德利体部		0.350.75		5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-3本単位	1
	61	筋德利体部		0.450.45		5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-3本単位	1
	62	筋德利体部		0.550.55		5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-3本単位	1
	63	筋德利体部		0.750.95		5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-3本単位	1
	64	筋德利体部		0.651.25		5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-3本単位	1
	65	筋德利体部		0.450.55		5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-3本単位	1
	66	筋德利体部		0.350.45		5YR6/3	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-3本単位	1
	67	筋德利体部		0.450.85		5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-3本単位	1
21	68	筋德利体部		0.650.65		5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-3本単位	1
	69	筋德利体部		0.450.95		5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-3本単位	1
	70	筋德利体部		0.500.85		5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-3本単位	1
	71	筋德利小片		0.350.75		5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-4本単位	1
		筋德利小片		0.650.65		5YR5/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ 筋-4本単位	1
		筋德利小片				5YR5/2 5YR7/6	良		筋-3本単位-36 筋のない部位-9 焼成不良筋なし-3	48
		灰釉德利片					良	0.1cm以下の石を僅かに含む	体部片 8点	8

合計 113

第14表 遺物観察表(その他製品)

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)・形体					特徴			特徴 その他	個数
			口(上)径	底(下)径	高さ	厚さ	播目	色調	焼成	胎土		
	74	火鉢				1.05		7.5YR7/6	不良	0.1cm以下の石を僅かに含む	貼り付け文	1
		火鉢片							良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
21	75	甕底+焼台						5YR5/2	良	0.1cm以下の石を多く含む		1
	76	平碗	12.2	5.8	5.0	0.35		7.5YR7/6	不良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	77	水指の蓋	9.0	5.0	3.2			10Y5/2	良	0.1cm以下の石を多く含む	低部に糸きり痕 釉 5Y5/4	1
	78	風炉						2.5YR8/3	不良	0.1cm以下の石を多く含む	釉は白濁している。内面にスス付着	1
	79	足付灯明台		9.4				5YR6/2	不良	0.1cm以下の石を僅かに含む	釉は白濁している。	1
	80	灯明台			1.3	0.25		2.5YR5/6	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	81	仏飯器	8.6					5YR7/6	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	82	小皿		3.9		0.65		10Y4/1	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	底部に糸きり痕	1
	83	鉢						10Y6/1	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	施釉 口縁端部に面を持つ	1
		鉢底部片						良	0.1cm以下の石を僅かに含む	内面施釉	1	
21	84	皿						10YR4/3	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	釉が白濁している 口縁は内湾する 釉7.5Y7/2	1
	85	土鍋						N5/	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	なまこ釉 釉10GY4/1	1
	86	蓋						2.5YR5/3	良	0.1cm以下の石を僅かに含む		1
	87	蓋						2.5YR3/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	口縁端部が下に折れる ジャコツ釉 一部2.5Y6/4	1
	88	土瓶体部				0.10.25			良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ イッチン模様 2点	1
	89	灰釉土瓶頸部							良	0.1cm以下の石を僅かに含む	写真のみ	1
	90	不明脚部						5YR4/2	良	0.1cm以下の石を僅かに含む	中位・上位施釉 釉一部カセる。釉7.5Y5/3 断面5YR5/1	1
		不明体部片						良	0.1cm以下の石を僅かに含む	10点(焼成不良のもの2点)	10	
		瓦片						良	0.5cm以下の石を多く含む	3点	3	

合計 32

第15表 遺物観察表(製品) 磁器

図版	実測番号	遺物名	法量(cm)			色調			焼成	胎土	特徴 その他	個数
			口径	底径	器高	釉色	呉須	露胎				
22	91	磁器碗		5.8		2.5YR8/2		5Y8/4	不良	緻密		1
	92	磁器碗		5.8		2.5YR8/2		2.5Y8/4	不良	緻密		1
	93	磁器碗		4.8		2.5YR8/2		2.5Y8/2	不良	緻密		1
	102	磁器筒碗				2.5YR8/2			不良	緻密	釉剥落	1
	94	染付碗				10YR8/1	5B3/7	7.5YR8/3	不良	緻密	内面 草花文、圏線 外面 草花文 圏線	1
	95	染付碗			5.6	2.5YR8/2	5B3/7	2.5Y6/1	不良	緻密	内面 圏線 外面 草花文 圏線	1
	96	磁器碗				2.5YR8/2	5Y6/6	5YR7/6	不良	緻密	釉剥落 内面 糸目文	1
	97	染付碗				2.5YR8/2			不良	緻密	内面 草花文 糸目文 圏線 外面 圏線	1
		染付碗				2.5YR8/2			不良	緻密	内面 草花文 糸目文 外面 圏線	1

22	106	染付碗			10Y8/1	7.5B4.5/2		良	緻密	内面 花文 圏線 外面 草花文 圏線	1
	107	染付筒碗	8.0		5Y8/1	7.5B4.5/2		不良	緻密	内面 圏線 外面 草花文 圏線 釉が白濁している	1
	108	染付碗			10Y8/1	N5.5/		良	緻密	内面 圏線 外面 御所車 圏線	1
	109	染付碗			7.5GY8/1	5B7/1		良	緻密	外面 圏線	1
	110	染付碗			7.5GY7/1	7.5B4.5/2		良	緻密	内面 圏線 外面 草花文 圏線	1
	111	染付碗			7.5Y7/1	2.5G5/1		良	緻密	外面 山水文 酸化している	1
	112	染付碗			5GY8/1	2.5G5/1		良	緻密	内面 圏線 外面 花唐草文 圏線	1
	113	染付碗			5GY8/1	2.5G5/1		良	緻密	内面 圏線 外面 花唐草文 圏線	1
	114	染付碗			2.5GY8/1	2.5PB8/4	2.5GY8/1	良	緻密	内面 瓔珞文 圏線 外面 露胎	1
	115	白磁碗			5Y8/2			良	緻密	釉が白濁している	1
	103	染付碗体			7.5YR8/3	5B3/7		不良	緻密	写真のみ 内面 圏線 外面 草花文 圏線 0.25 0.75	1
	116	染付碗片						良	緻密	写真のみ 12点	12
	100	磁器稜花	8.4	2.5	2.5YR8/2			不良	緻密	口縁にひだあり	1
	122	白磁稜花			10GY8/1			良	緻密		1
	117	染付稜花			7.5GY8/1	7.5B4.5/2		良	緻密	内面 芭蕉文 圏線 外面 草花文	1
	118	染付稜花			5GY8/1	7.5B4.5/2		良	緻密	内面 草花文 圏線 外面 草花文	1
	119	染付大皿			7.5GY8/1	1PB5/4.5		良	緻密	内面 蛇筆文 圏線 外面 草花文	1
	120	染付大皿			7.5GY8/1	1PB5/4.5		良	緻密	内面 草花文 圏線 外面 草花文	1
	121	染付大皿			7.5GY8/1	1PB5/4.5		良	緻密	外面 草花文	1
	128	染付稜花			10YR8/1	N1.5/		良	緻密	内面 草花文	1
	123	染付皿			5GY8/1	1PB5/4.5		良	緻密	外面 草花文	1
	124	染付皿			10GY8/1	1PB5/4.5		良	緻密	外面 草花文	1
	125	染付皿			10GY8/1	5B3/7	10YR8/3	良	緻密	内面 草花文	1
	126	染付皿			5GY8/1	7.5B4.5/2	2.5YR8/2	良	緻密	内面 草花文 圏線	1
	127	染付皿			10GY8/1	2.5PB8/4	2.5YR8/2	良	緻密	外面 圏線	1
	101	染付皿		3.3	2.5YR8/2	5B3/7	7.5YR7/4	不良	緻密	内面 不明文様	1
	133	染付蓋			10GY8/1	7.5B4.5/2	7.5Y8/1	良	緻密	外面 草花文	1

合計 47
製品合計 320
出土遺物合計 551